

## 江差町の今後のまちづくりに関する町民アンケート 調査結果

### ◆ 配布・回収状況（2018/8/6時点）

配布数	1,500票
回収数	576票
回収率	38.4%

### ◆ アンケート調査結果

※ アンケート地域別分析の区分について	P1
Ⅰ 回答者の属性について（問1～問8）	P2
Ⅱ 現在の江差町のまちづくりについて（問9～問12）	P16
Ⅲ 今後の居住意向について（問13～問13-2）	P25
Ⅳ 市街地・中心市街地の利用実態と今後のあり方について（問14～問18）	P31
Ⅴ 将来（10～20年後）のまちづくりについて（問19～問26）	P40
Ⅵ アンケート調査票	P48
Ⅶ アンケート調査の概要	P52

※ 無回答、無効回答（単数設問で複数選択）は集計対象から除外。ただし、複数回答での規定数超の回答（例：3つまでを4つ選択）は集計に反映。

※ 本資料中では以下の略称を使用する。[SA(Single Answer)]単数回答・[MA(Multi Answer)]複数回答・[FA(Free Answer)]自由記述

# ※ アンケート地域別分析の区分について

表 アンケート地域別分析の区分

区分	(参考) H27国調人口
1. 北部 水堀町 越前町 五厘沢町 小黒部町 鯨川町 中網町 朝日町	972
2. 都市計画区域北部 伏木戸町 柳崎町	879
3. 中部 (田沢、尾山、泊、大澗) 田沢町 尾山町 泊町 大澗町	714
4. 市街地北部 東山 豊川町 新栄町 愛宕町 桧岱	1204
5. 市街地中部 (下町) 中歌町 姥神町 鷗島 津花町	614
6. 市街地中部 (上町) 上野町 本町 橋本町 新地町 茂尻町 陣屋町	1583
7. 緑丘・円山 緑丘 円山	784
8. 市街地南部 海岸町 南が丘 南浜町 萩ノ岱	1162
9. 南部 柏町 砂川 檜川町	336

◆ アンケートの地域別分析では、上記の地域区分でクロス集計を行っております。

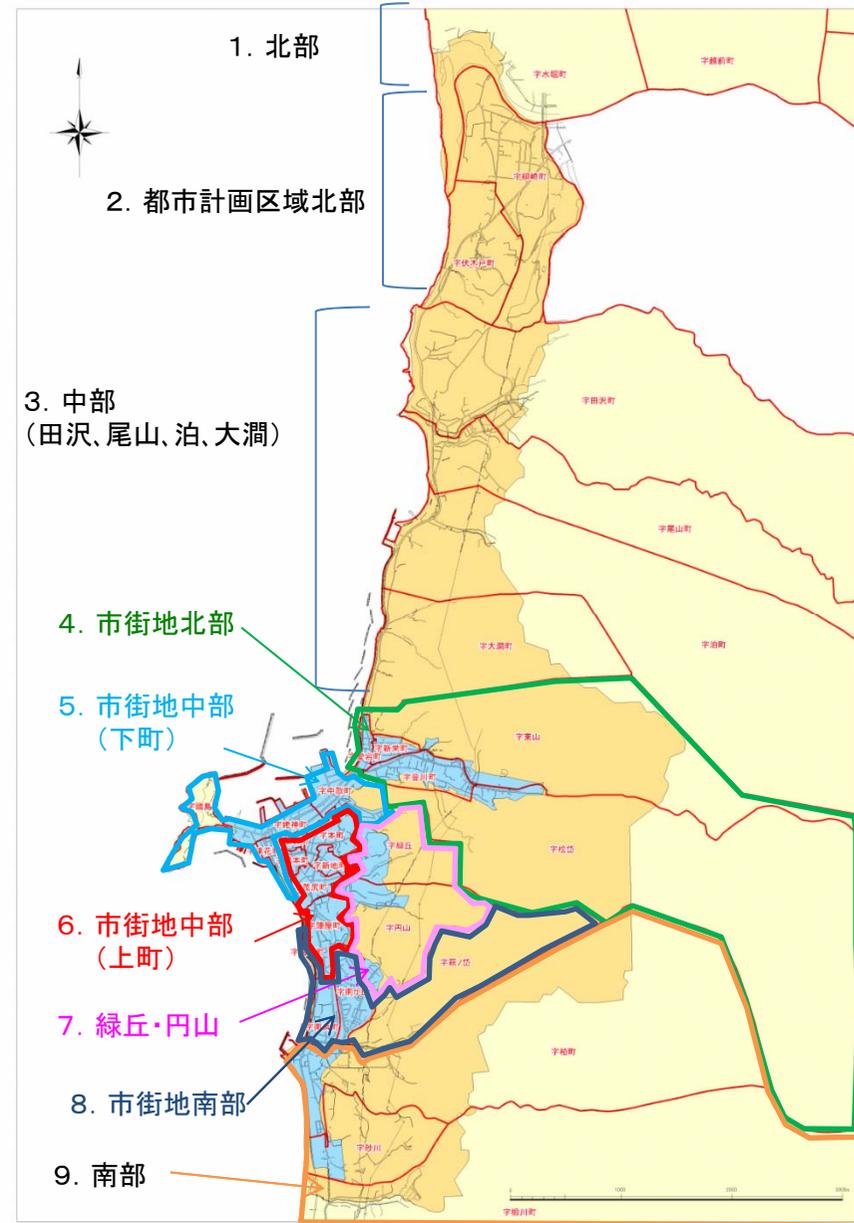
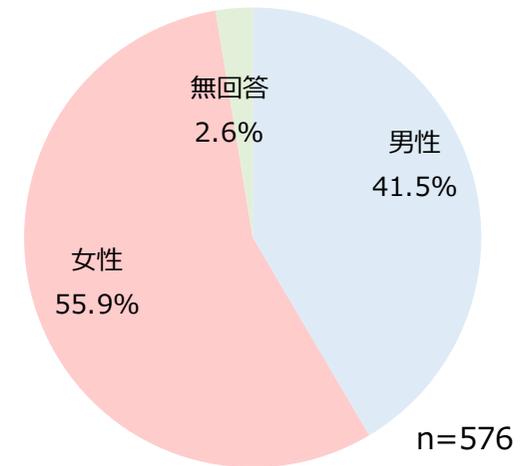


図 アンケート地域別分析の区分

# I 回答者の属性について

【問1】 性別をお教えてください。 <SA> (1つに○)

選択肢	回答数	構成比
男性	239	41.5%
女性	322	55.9%
無回答	15	2.6%
合計	576	100.0%

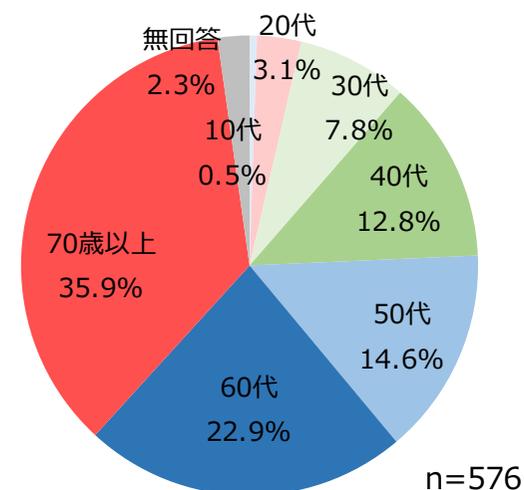


- 回答者の性別は、「女性」が多く、322人55.9%。「男性」は、239人41.5%。

# I 回答者の属性について

【問2】 年齢をお教えてください。 <SA> (1つに○)

選択肢	回答数	構成比
10代	3	0.5%
20代	18	3.1%
30代	45	7.8%
40代	74	12.8%
50代	84	14.6%
60代	132	22.9%
70歳以上	207	35.9%
無回答	13	2.3%
合計	576	100.0%

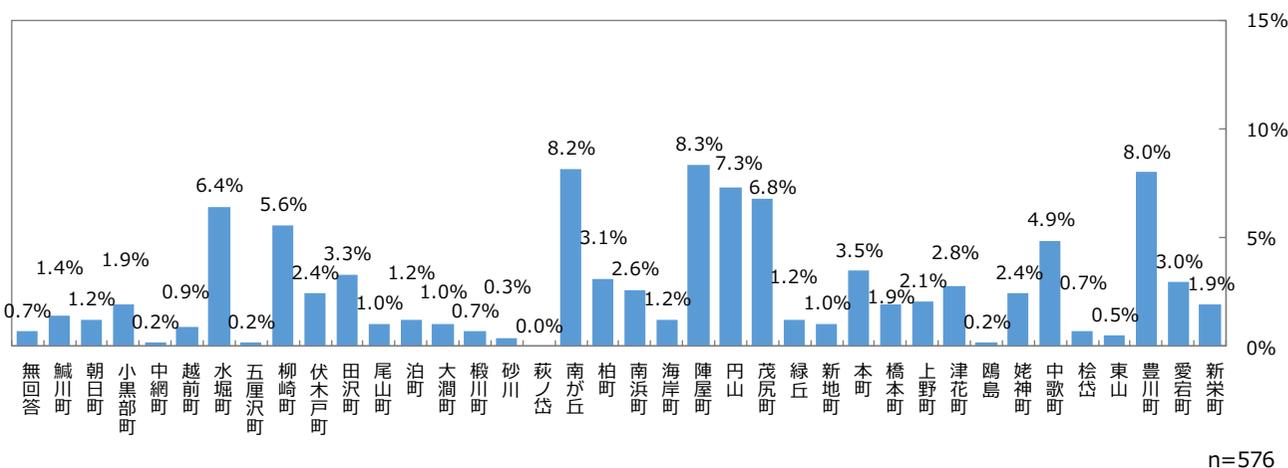


- 回答者の年齢は、「70歳以上」が最も多く、207人35.9%。
- 次いで「60代」が2番目に多く、132人22.9%。「50代」が84人14.6%と3番目に多い。

# I 回答者の属性について

【問3】 現在住んでいる地区をお教えてください。 <SA> (1つに○)

選択肢	回答数	構成比
新栄町	11	1.9%
愛宕町	17	3.0%
豊川町	46	8.0%
東山	3	0.5%
松岱	4	0.7%
中歌町	28	4.9%
姥神町	14	2.4%
鷗島	1	0.2%
津花町	16	2.8%
上野町	12	2.1%
橋本町	11	1.9%
本町	20	3.5%
新地町	6	1.0%
緑丘	7	1.2%
茂尻町	39	6.8%
田山	42	7.3%
陣屋町	48	8.3%
海岸町	7	1.2%
南浜町	15	2.6%
柏町	18	3.1%
南が丘	47	8.2%
萩ノ岱	0	0.0%
砂川	2	0.3%
檜川町	4	0.7%
大潤町	6	1.0%
泊町	7	1.2%
尾山町	6	1.0%
田沢町	19	3.3%
伏木戸町	14	2.4%
柳崎町	32	5.6%
五厘沢町	1	0.2%
水堀町	37	6.4%
越前町	5	0.9%
中網町	1	0.2%
小黒部町	11	1.9%
朝日町	7	1.2%
鹹川町	8	1.4%
無回答	4	0.7%
合計	576	100%

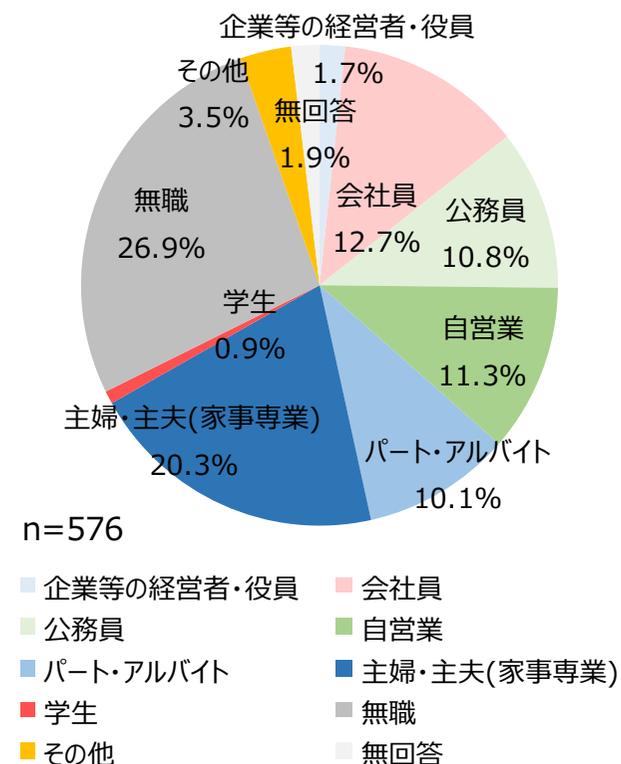


・ 回答者の居住地区は、「陣屋町」が最も多く48人8.3%。次いで、「南が丘」が47人8.2%、「豊川町」が46人8.0%。

# I 回答者の属性について

【問4】 ご職業をお教えてください。〈SA〉（1つに○）

選択肢	回答数	構成比
企業等の経営者・役員	10	1.7%
会社員	73	12.7%
公務員	62	10.8%
自営業	65	11.3%
パート・アルバイト	58	10.1%
主婦・主夫(家事専業)	117	20.3%
学生	5	0.9%
無職	155	26.9%
その他	20	3.5%
無回答	11	1.9%
合計	576	100.0%



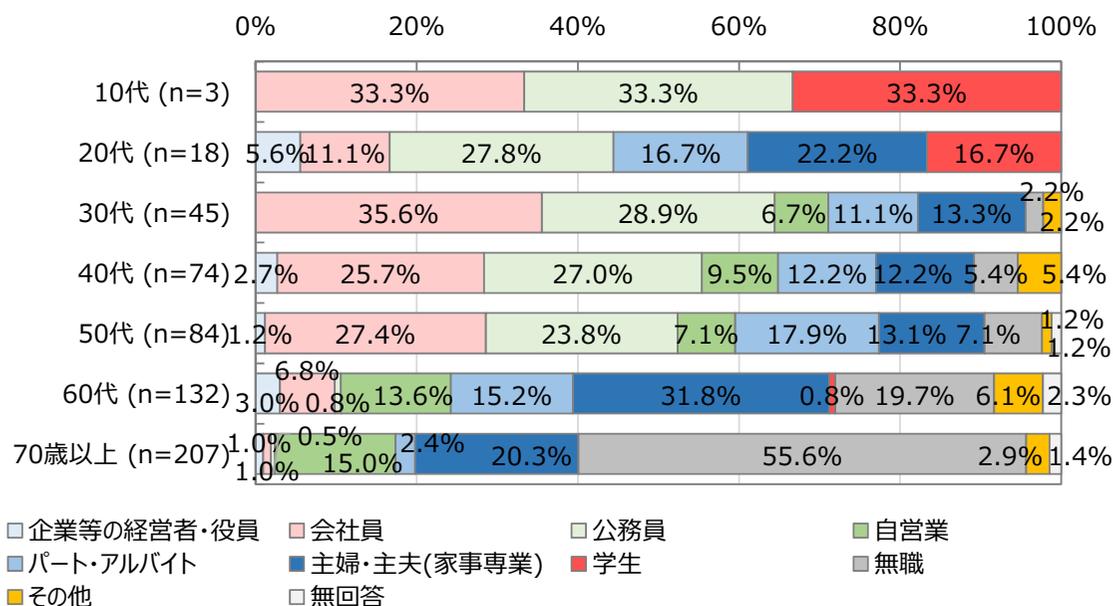
- ・ 回答者の職業は、「無職」が最も多く、155人26.9%。
- ・ 次に、「主婦・主夫（家事専業）」が117人20.3%、「会社員」が3番目に多く、73人12.7%。

# I 回答者の属性について

【年齢別クロス集計】

【問4】 ご職業をお教えてください。〈SA〉（1つに○）

選択肢	10代 (n=3)	20代 (n=18)	30代 (n=45)	40代 (n=74)	50代 (n=84)	60代 (n=132)	70歳以上 (n=207)
企業等の経営者・役員	0.0%	5.6%	0.0%	2.7%	1.2%	3.0%	1.0%
会社員	33.3%	11.1%	35.6%	25.7%	27.4%	6.8%	1.0%
公務員	33.3%	27.8%	28.9%	27.0%	23.8%	0.8%	0.5%
自営業	0.0%	0.0%	6.7%	9.5%	7.1%	13.6%	15.0%
パート・アルバイト	0.0%	16.7%	11.1%	12.2%	17.9%	15.2%	2.4%
主婦・主夫(家事専業)	0.0%	22.2%	13.3%	12.2%	13.1%	31.8%	20.3%
学生	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%
無職	0.0%	0.0%	2.2%	5.4%	7.1%	19.7%	55.6%
その他	0.0%	0.0%	2.2%	5.4%	1.2%	6.1%	2.9%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	2.3%	1.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



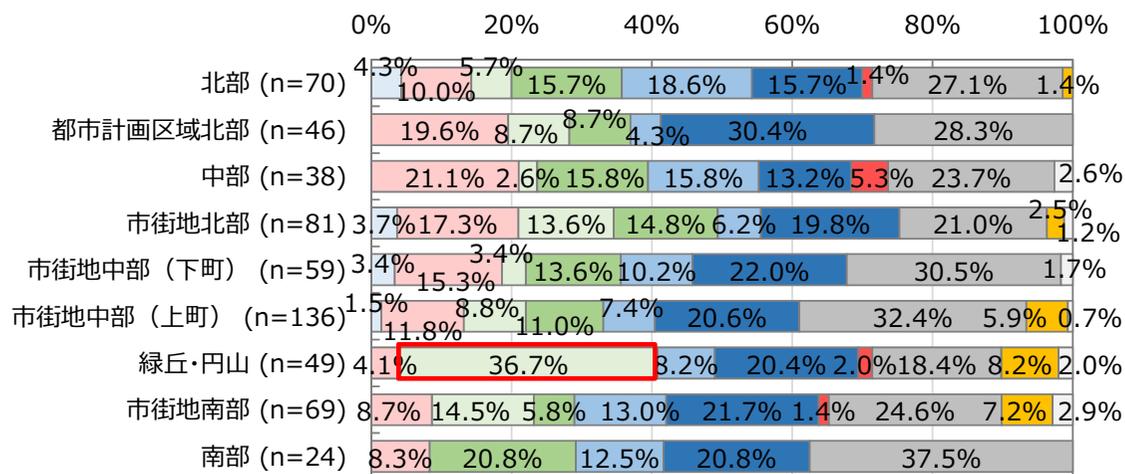
- 回答者の年齢別職業は、50代以下で会社員、公務員の割合が多い。
- 60代以上になると家事専業、無職が多いほか、自営業も一定の割合を占めている。

# I 回答者の属性について

【地域別クロス集計】

【問4】 ご職業をお教えてください。 <SA> (1つに○)

選択肢	北部	都市計画区域北部	中部	市街地北部	市街地中部(下町)	市街地中部(上町)	緑丘・円山	市街地南部	南部
企業等の経営者・役員	3	0	0	3	2	2	0	0	0
会社員	7	9	8	14	9	16	2	6	2
公務員	4	4	1	11	2	12	18	10	0
自営業	11	4	6	12	8	15	0	4	5
パート・アルバイト	13	2	6	5	6	10	4	9	3
主婦・主夫(家事専業)	11	14	5	16	13	28	10	15	5
学生	1	0	2	0	0	0	1	1	0
無職	19	13	9	17	18	44	9	17	9
その他	1	0	0	2	0	8	4	5	0
無回答	0	0	1	1	1	1	1	2	0
合計	70	46	38	81	59	136	49	69	24



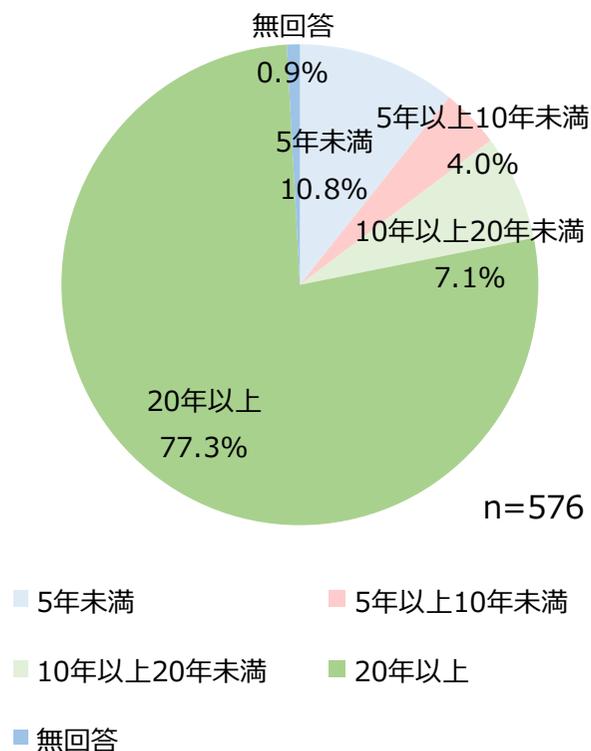
• 回答者の地区別職業は、緑丘・円山で公務員の割合が多い。

- 企業等の経営者・役員
- 会社員
- 公務員
- 自営業
- パート・アルバイト
- 主婦・主夫(家事専業)
- 学生
- 無職
- その他
- 無回答

## I 回答者の属性について

【問5】 これまでに通算で江差町にどのくらいの期間住んでいますか。〈SA〉（1つに○）

選択肢	回答数	構成比
5年未満	62	10.8%
5年以上10年未満	23	4.0%
10年以上20年未満	41	7.1%
20年以上	445	77.3%
無回答	5	0.9%
合計	576	100.0%



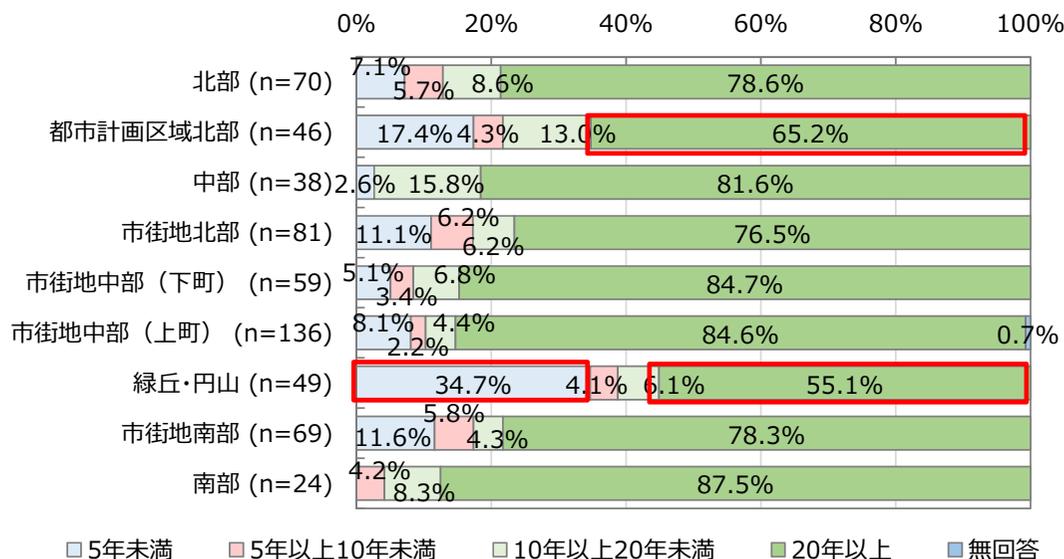
- 回答者の居住期間は、「20年以上」が最も多く、445人77.3%。
- 次いで「5年未満」が62人10.8%、「10年以上20年未満」が3番目に多く、41人7.1%。

# I 回答者の属性について

【地域別クロス集計】

【問5】 これまでに通算で江差町にどのくらいの期間住んでいますか。〈SA〉（1つに○）

選択肢	北部	都市計画区域北部	中部	市街地北部	市街地中部（下町）	市街地中部（上町）	緑丘・円山	市街地南部	南部
5年未満	5	8	1	9	3	11	17	8	0
5年以上10年未満	4	2	0	5	2	3	2	4	1
10年以上20年未満	6	6	6	5	4	6	3	3	2
20年以上	55	30	31	62	50	115	27	54	21
無回答	0	0	0	0	0	1	0	0	0
合計	70	46	38	81	59	136	49	69	24

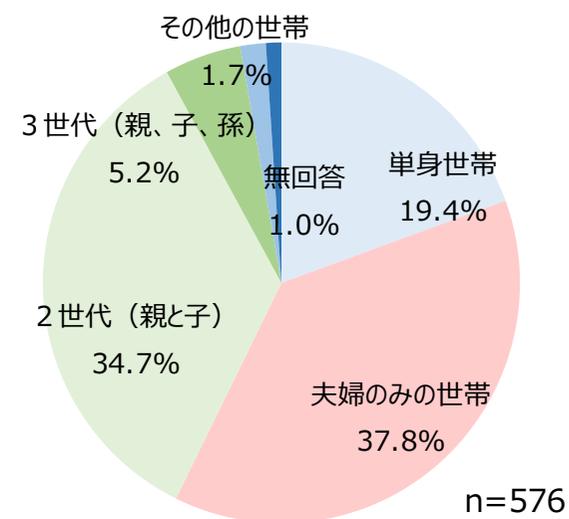


- 回答者の地区別居住年数は、緑丘・円山で5年未満の割合が34.7%と最も高く、20年以上の割合が55.1%と最も低くなっている。
- また、都市計画区域北部（伏木戸町、柳崎町）でも緑丘・円山に次いで居住年数20年以上の割合が低い。

# I 回答者の属性について

【問6】 現在の世帯の家族構成をお教えてください。〈SA〉（1つに○）

選択肢	回答数	構成比
単身世帯	112	19.4%
夫婦のみの世帯	218	37.8%
2世代（親と子）	200	34.7%
3世代（親、子、孫）	30	5.2%
その他の世帯	10	1.7%
無回答	6	1.0%
合計	576	100.0%



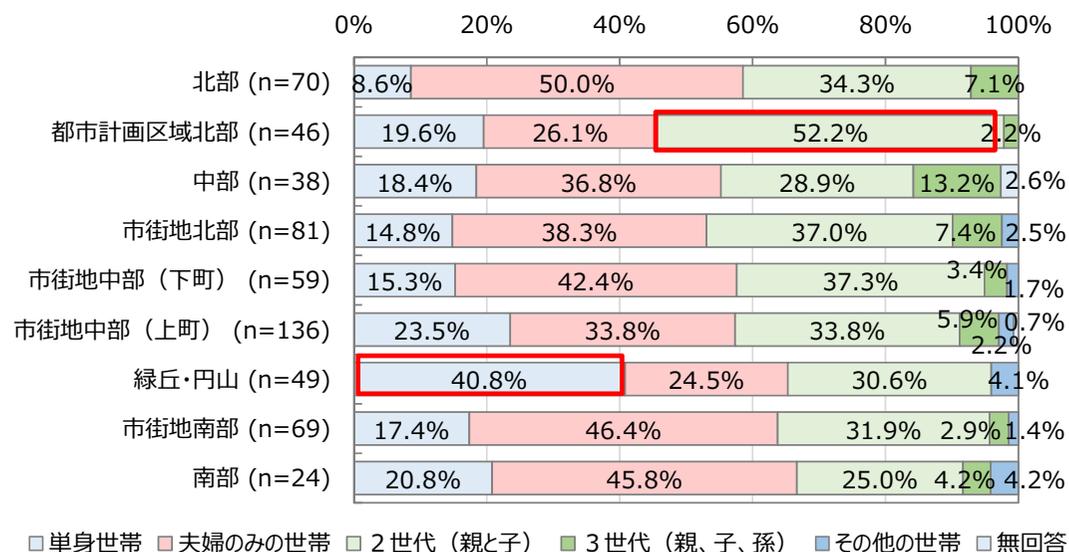
- ・ 回答者の世帯の家族構成は、「夫婦のみの世帯」が最も多く、218人37.8%。
- ・ 次いで「2世代（親と子）」が200人34.7%、「単身世帯」が3番目に多く、112人19.4%。

# I 回答者の属性について

【地域別クロス集計】

【問6】 現在の世帯の家族構成をお教えてください。〈SA〉（1つに○）

選択肢	北部	都市計画区域北部	中部	市街地北部	市街地中部（下町）	市街地中部（上町）	緑丘・円山	市街地南部	南部
単身世帯	6	9	7	12	9	32	20	12	5
夫婦のみの世帯	35	12	14	31	25	46	12	32	11
2世代（親と子）	24	24	11	30	22	46	15	22	6
3世代（親、子、孫）	5	1	5	6	2	8	0	2	1
その他の世帯	0	0	0	2	1	3	2	1	1
無回答	0	0	1	0	0	1	0	0	0
合計	70	46	38	81	59	136	49	69	24

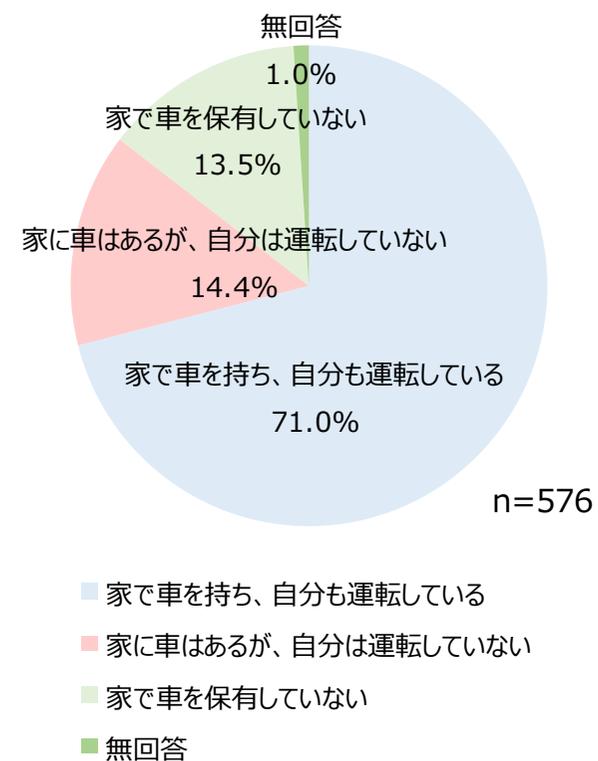


- 回答者の地区別家族構成は、緑丘・円山で単身世帯の割合が40.8%と最も多くなっている。
- また、2世代（親と子）の割合は都市計画区域北部（伏木戸町、柳崎町）で52.2%と高くなっている。

# I 回答者の属性について

【問7】 世帯の車の所有状況をお教えてください。〈SA〉（1つに○）

選択肢	回答数	構成比
家で車を持ち、自分も運転している	409	71.0%
家に車はあるが、自分は運転していない	83	14.4%
家で車を保有していない	78	13.5%
無回答	6	1.0%
合計	576	100.0%



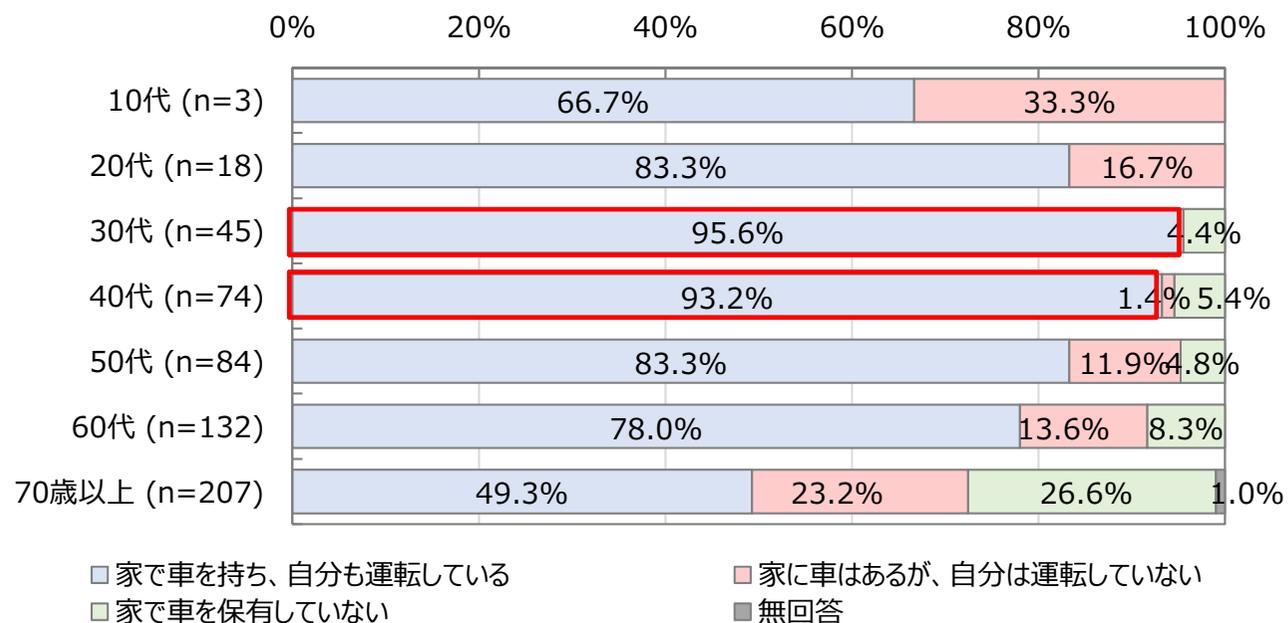
- 回答者の自動車所有状況は、「家で車を持ち、自分も運転している」が最も多く、409人71.0%。

# I 回答者の属性について

【年齢別クロス集計】

【問7】 世帯の車の所有状況をお教えてください。〈SA〉（1つに○）

選択肢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
家で車を持ち、自分も運転している	2	15	43	69	70	103	102
家に車はあるが、自分は運転していない	1	3	0	1	10	18	48
家で車を保有していない	0	0	2	4	4	11	55
無回答	0	0	0	0	0	0	2
合計	3	18	45	74	84	132	207



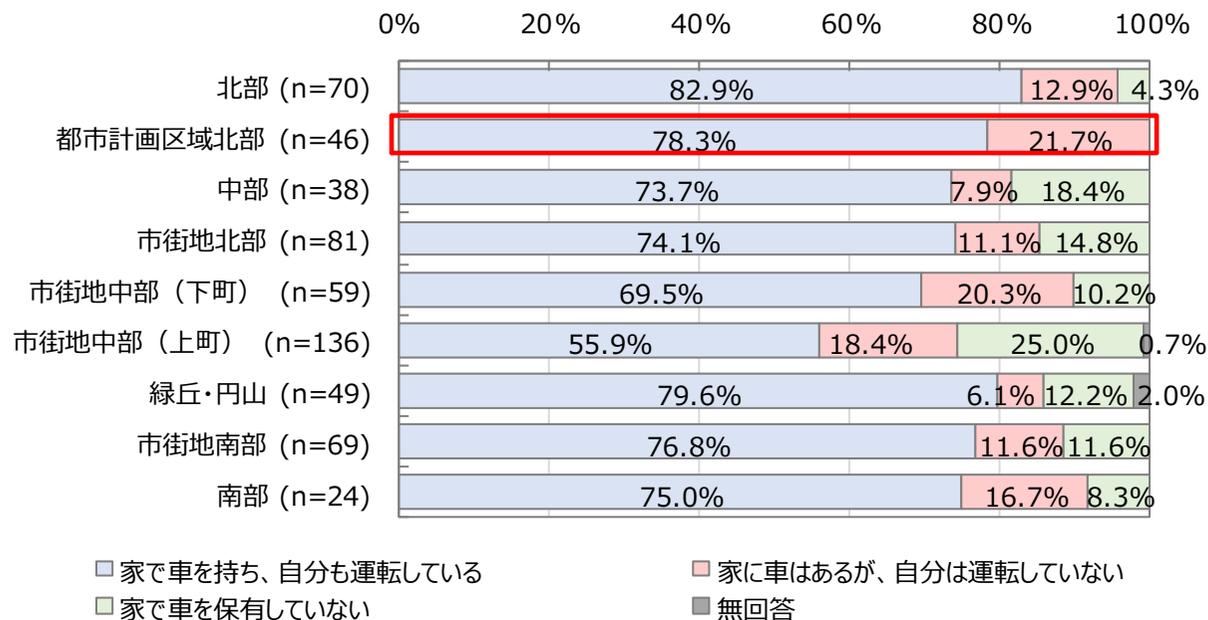
・自動車保有状況を年齢別に見ると、30代、40代で「家で車を持ち、自分も運転している」が90%以上を占めている。

# I 回答者の属性について

【地域別クロス集計】

【問7】 世帯の車の所有状況をお教えてください。〈SA〉（1つに○）

選択肢	北部	都市計画 区域北部	中部	市街地北部	市街地中部 (下町)	市街地中部 (上町)	緑丘・円山	市街地南部	南部
家で車を持ち、自分も運転している	58	36	28	60	41	76	39	53	18
家に車はあるが、自分は運転していない	9	10	3	9	12	25	3	8	4
家で車を保有していない	3	0	7	12	6	34	6	8	2
無回答	0	0	0	0	0	1	1	0	0
合計	70	46	38	81	59	136	49	69	24

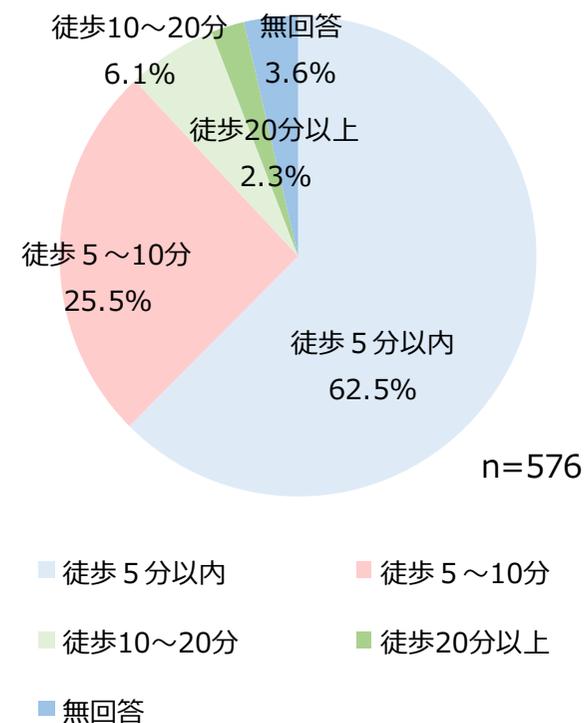


・自動車保有状況を地域別に見ると、都市計画区域北部では、自動車保有率が100%。

## I 回答者の属性について

【問8】 ご自宅から最寄のバス停までの徒歩時間はどのくらいですか。〈SA〉（1つに○）

選択肢	回答数	構成比
徒歩5分以内	360	62.5%
徒歩5～10分	147	25.5%
徒歩10～20分	35	6.1%
徒歩20分以上	13	2.3%
無回答	21	3.6%
合計	576	100.0%



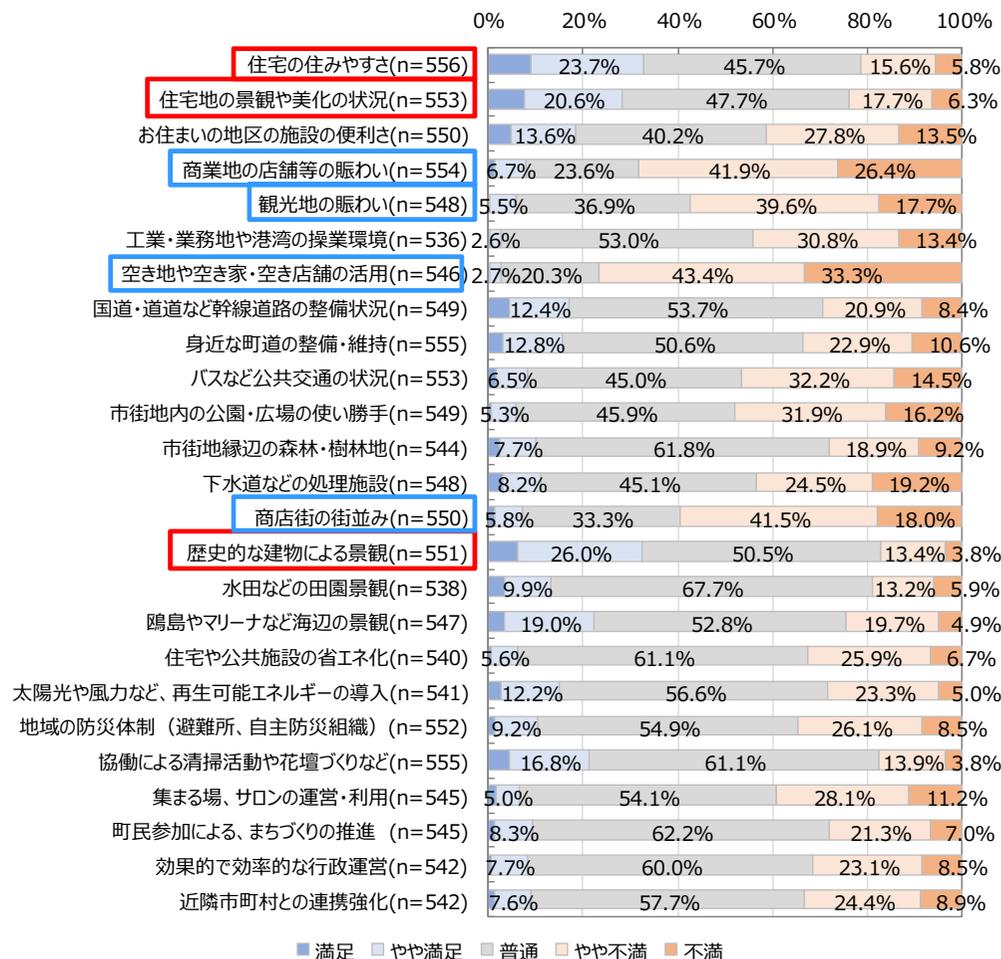
- 回答者の自宅から最寄バス停までの徒歩時間は、「徒歩5分以内」が最も多く、360人62.5%。

## II 現在の江差町のまちづくりについて

【満足度】

【問9】 現在江差町が進めているまちづくりについての満足度と将来のまちづくりに向けた重要度について、どのように感じているか教えてください。 <SA> (1~25の満足度それぞれ1つに○)

選択肢	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
住宅の住みやすさ	51	132	254	87	32
住宅地の景観や美化の状況	42	114	264	98	35
お住まいの地区の施設の便利さ	27	75	221	153	74
商業地の店舗等の賑わい	8	37	131	232	146
観光地の賑わい	2	30	202	217	97
工業・業務地や港湾の操業環境	1	14	284	165	72
空き地や空き家・空き店舗の活用	1	15	111	237	182
国道・道道など幹線道路の整備状況	25	68	295	115	46
身近な町道の整備・維持	17	71	281	127	59
バスなど公共交通の状況	10	36	249	178	80
市街地内の公園・広場の使い勝手	4	29	252	175	89
市街地縁辺の森林・樹林地	13	42	336	103	50
下水道などの処理施設	17	45	247	134	105
商店街の街並み	8	32	183	228	99
歴史的な建物による景観	35	143	278	74	21
水田などの田園景観	18	53	364	71	32
鷗島やマリーナなど海辺の景観	19	104	289	108	27
住宅や公共施設の省エネ化	4	30	330	140	36
太陽光や風力など、再生可能エネルギーの導入	16	66	306	126	27
地域の防災体制（避難所、自主防災組織）	7	51	303	144	47
協働による清掃活動や花壇づくりなど	25	93	339	77	21
集まる場、サロンの運営・利用	9	27	295	153	61
町民参加による、まちづくりの推進	7	45	339	116	38
効果的で効率的な行政運営	4	42	325	125	46
近隣市町村との連携強化	8	41	313	132	48



- まちづくりの項目について、満足度は、「ふつう」が最も多い。
- 満足度が高い項目は、「歴史的な建物による景観」、「住宅の住みやすさ」、「住宅地の景観や美化の状況」。
- 満足度の低い項目は、「空き地や空き家・空き店舗の活用」、「商業地の店舗等の賑わい」、「商店街の街並み」、「観光地の賑わい」。

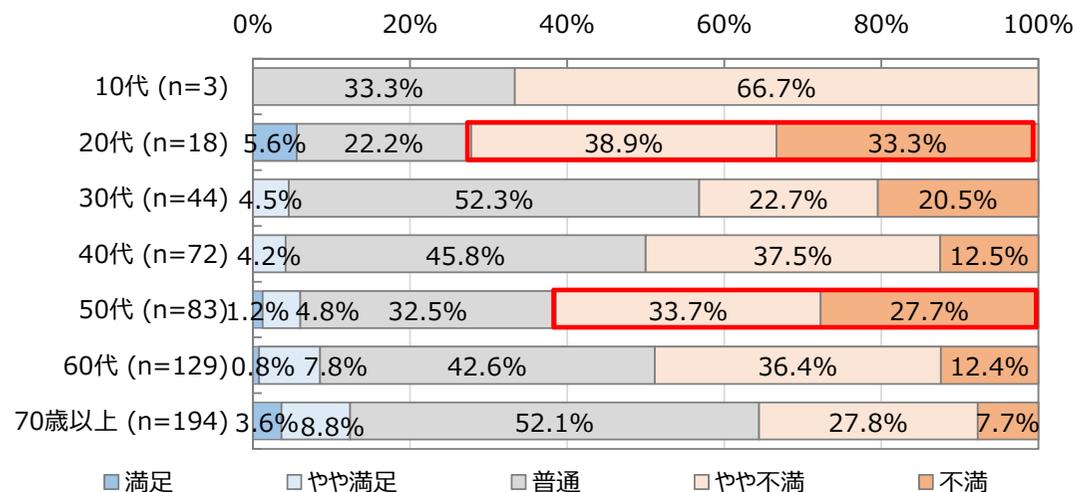
## Ⅱ 現在の江差町のまちづくりについて

【満足度・年齢別クロス集計】

【問9】 現在江差町が進めているまちづくりについての満足度と将来のまちづくりに向けた重要度について、どのように感じているか教えてください。 <SA> (1~25の満足度それぞれ1つに○)

表 バスなどの公共交通状況の満足度

選択肢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
満足	0	1	0	0	1	1	7
やや満足	0	0	2	3	4	10	17
普通	1	4	23	33	27	55	101
やや不満	2	7	10	27	28	47	54
不満	0	6	9	9	23	16	15
	3	18	44	72	83	129	194



- バスなどの公共交通状況の満足度を年代別に見ると、満足度は高くなく、20代、50代で不満度が高くなっている。

## II 現在の江差町のまちづくりについて

【満足度・地域別クロス集計】

【問9】 現在江差町が進めているまちづくりについての満足度と将来のまちづくりに向けた重要度について、どのように感じているか教えてください。 <SA> (1~25の満足度それぞれ1つに○)

表 バスなどの公共交通状況の満足度

選択肢	北部	都市計画区域北部	中部	市街地北部	市街地中部(下町)	市街地中部(上町)	緑丘・円山	市街地南部	南部
満足	1	1	0	0	0	4	1	2	1
やや満足	1	1	3	2	6	14	2	4	3
普通	28	30	15	30	27	60	23	25	11
やや不満	25	11	10	29	18	39	15	25	6
不満	13	3	6	16	7	13	6	12	3
	68	46	34	77	58	130	47	68	24

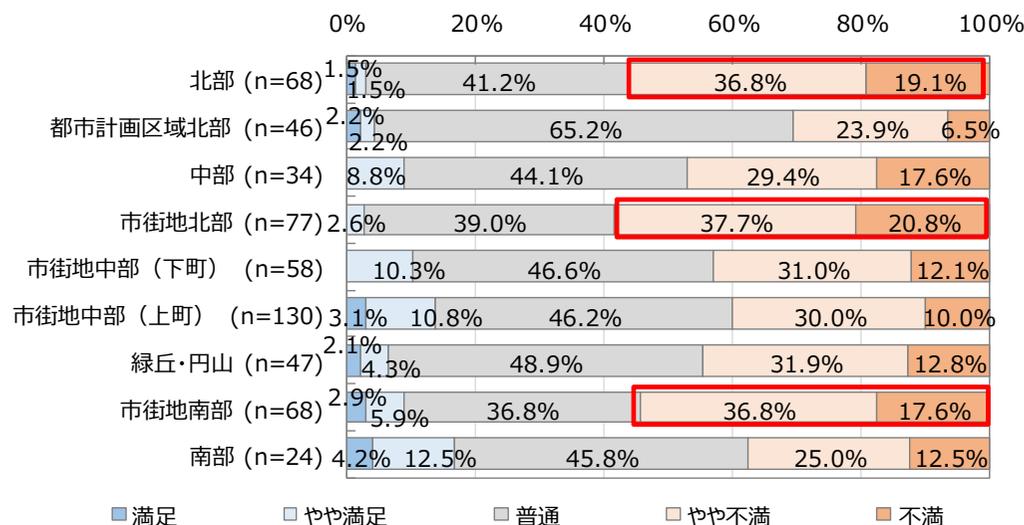


図 バスなどの公共交通状況の満足度

- バスなどの公共交通状況の満足度を地区別に見ると、市街地北部、北部、市街地南部で不満度（「やや不満」と「不満」の合計）が高くなっている。

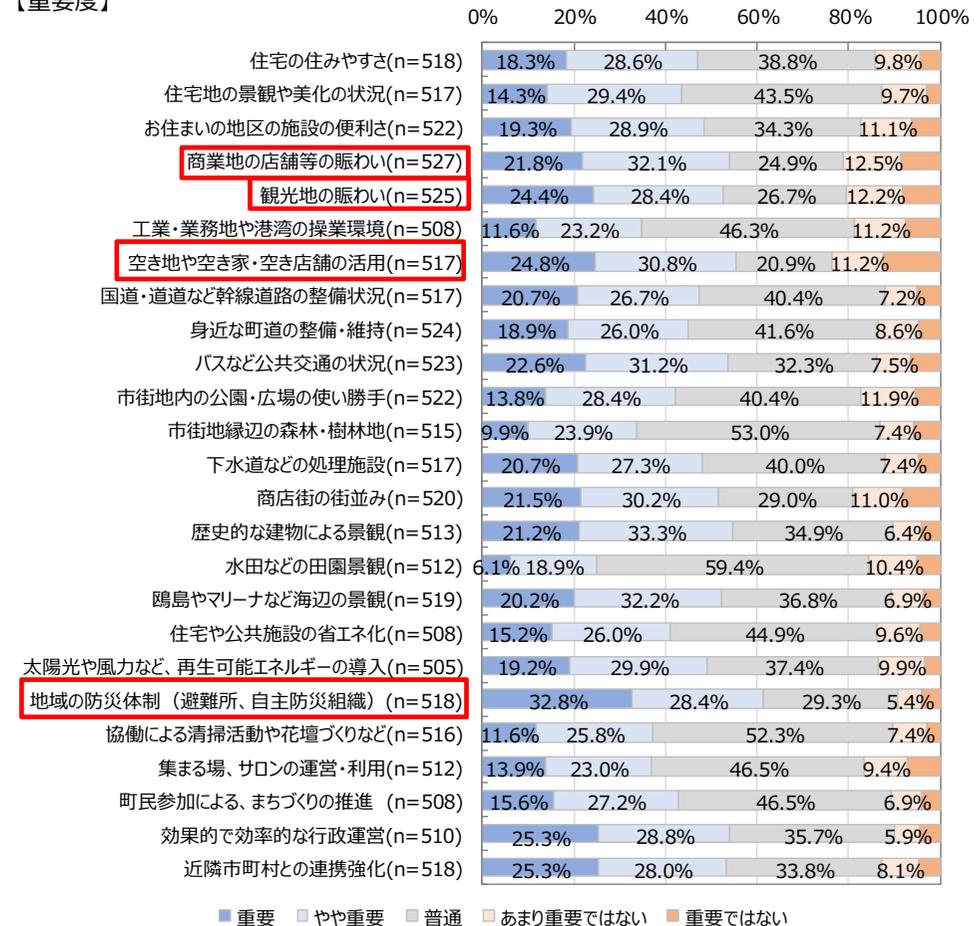
## II 現在の江差町のまちづくりについて

【重要度】

【問9】 現在江差町が進めているまちづくりについての満足度と将来のまちづくりに向けた重要度について、どのように感じているか教えてください。 <SA> (1~25の満足度それぞれ1つに○)

選択肢	重要	やや重要	普通	あまり重要ではない	重要ではない
住宅の住みやすさ	95	148	201	51	23
住宅地の景観や美化の状況	74	152	225	50	16
お住まいの地区の施設の便利さ	101	151	179	58	33
商業地の店舗等の賑わい	115	169	131	66	46
観光地の賑わい	128	149	140	64	44
工業・業務地や港湾の操業環境	59	118	235	57	39
空き地や空き家・空き店舗の活用	128	159	108	58	64
国道・道道など幹線道路の整備状況	107	138	209	37	26
身近な町道の整備・維持	99	136	218	45	26
バスなど公共交通の状況	118	163	169	39	34
市街地内の公園・広場の使い勝手	72	148	211	62	29
市街地縁辺の森林・樹林地	51	123	273	38	30
下水道などの処理施設	107	141	207	38	24
商店街の街並み	112	157	151	57	43
歴史的な建物による景観	109	171	179	33	21
水田などの田園景観	31	97	304	53	27
鷗島やマリーナなど海辺の景観	105	167	191	36	20
住宅や公共施設の省エネ化	77	132	228	49	22
太陽光や風力など、再生可能エネルギーの導入	97	151	189	50	18
地域の防災体制（避難所、自主防災組織）	170	147	152	28	21
協働による清掃活動や花壇づくりなど	60	133	270	38	15
集まる場、サロンの運営・利用	71	118	238	48	37
町民参加による、まちづくりの推進	79	138	236	35	20
効果的で効率的な行政運営	129	147	182	30	22
近隣市町村との連携強化	131	145	175	42	25

【重要度】



- まちづくりの項目について、重要度は、「ふつう」が最も多い。
- 重要度が高い項目は、「地域の防災体制（避難所、自主防災組織）」、「空き地や空き家・空き店舗の活用」、「商業地の店舗等の賑わい」、「観光地の賑わい」。
- 重要度が高いが、満足度が低い項目は、「空き地や空き家・空き店舗の活用」、「商業地の店舗等の賑わい」、「商店街の街並み」。

## Ⅱ 現在の江差町のまちづくりについて

【重要度・年齢別クロス集計】

【問9】 現在江差町が進めているまちづくりについての満足度と将来のまちづくりに向けた重要度について、どのように感じているか教えてください。 <SA> (1~25の満足度それぞれ1つに○)

表 バスなどの公共交通状況の重要度

選択肢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
重要	1	8	12	19	24	20	30
やや重要	1	5	16	24	25	39	51
普通	0	2	15	21	18	43	67
あまり重要ではない	0	2	0	6	5	12	14
重要ではない	0	1	1	2	7	9	14
	2	18	44	72	79	123	176

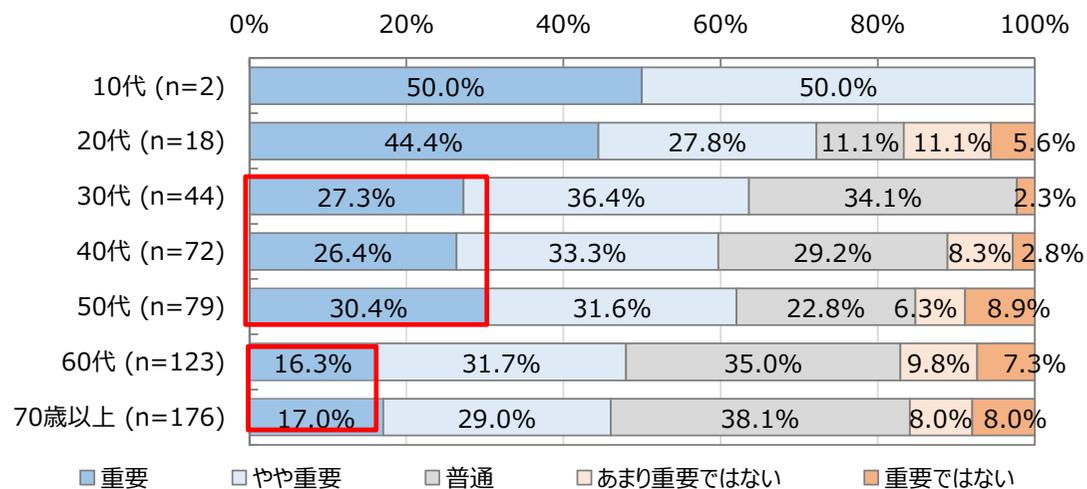


図 バスなどの公共交通状況の重要度

- バスなどの公共交通状況の重要度を年齢別に見ると、「重要」と答える割合が、60代以上より50代以下で高くなっている。

## II 現在の江差町のまちづくりについて

【重要度・地域別クロス集計】

【問9】 現在江差町が進めているまちづくりについての満足度と将来のまちづくりに向けた重要度について、どのように感じているか教えてください。 <SA> (1~25の満足度それぞれ1つに○)

表 バスなどの公共交通状況の重要度

選択肢	北部	都市計画区域北部	中部	市街地北部	市街地中部(下町)	市街地中部(上町)	緑丘・円山	市街地南部	南部
重要	10	8	7	20	11	27	12	18	5
やや重要	19	19	8	23	17	37	16	19	5
普通	22	15	13	18	20	39	16	17	8
あまり重要ではない	8	1	2	5	2	10	3	7	1
重要ではない	6	2	3	8	6	4	0	2	3
	65	45	33	74	56	117	47	63	22

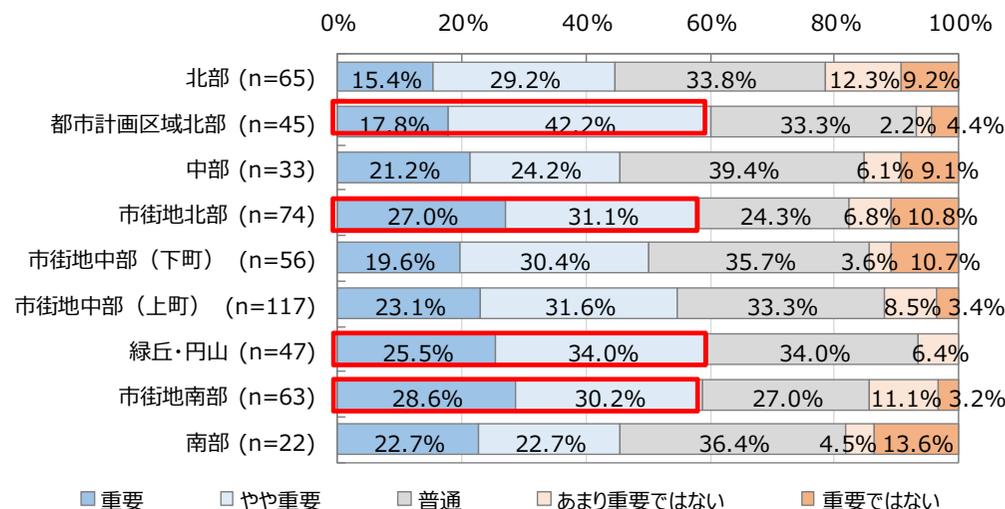


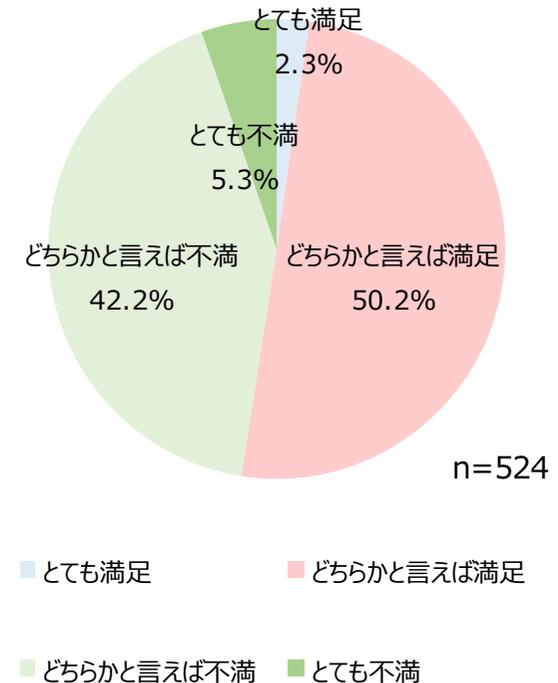
図 バスなどの公共交通状況の重要度

- バスなどの公共交通状況の重要度を地区別に見ると、全体的に「普通」が多いが、都市計画区域北部・緑丘円山・市街地北部・市街地南部では重要度（「重要」と「やや重要」の合計）が多くなっている。

## II 現在の江差町のまちづくりについて

【問10】 問9を踏まえ、あなたは江差町での暮らしに全体的に満足していますか。〈SA〉（1つに○）

選択肢	回答数	構成比
とても満足	12	2.3%
どちらかと言えば満足	263	50.2%
どちらかと言えば不満	221	42.2%
とても不満	28	5.3%
合計	524	100.0%



- ・ 江差町での暮らしについて、「どちらかと言えば満足」が最も多く、263人50.2%。
- ・ 「どちらかと言えば不満」が2番目に多く、221人42.2%。

## Ⅱ 現在の江差町のまちづくりについて

---

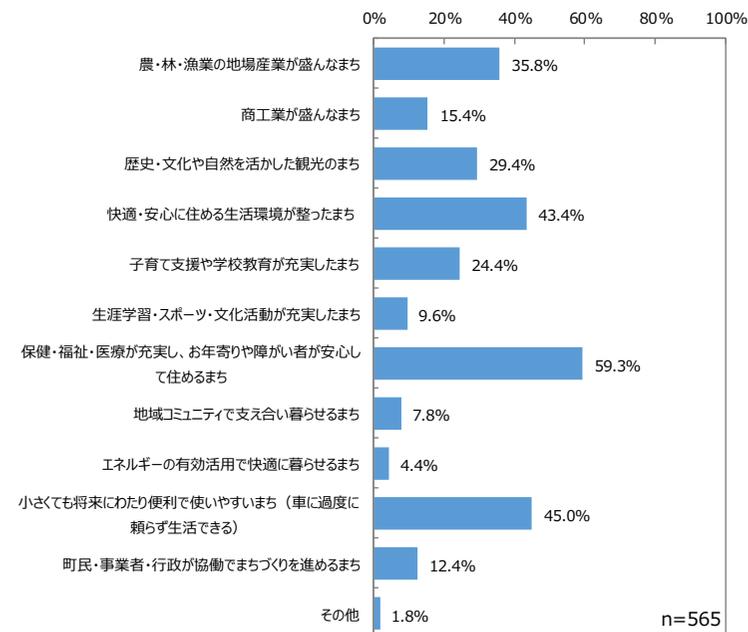
【問11】 問9でお答えいただいた中で、特に満足な（良いと思う）ところ、不満な（悪いと思う）ところがあれば具体的にお書きください。〈SA〉（1つに○）

自由記述 別紙参照

## II 現在の江差町のまちづくりについて

【問12】 今後、江差町がどのような町であってほしいと考えますか。<SA>（優先的に望むもの3つに○）

選択肢	回答数	構成比
農・林・漁業の地場産業が盛んなまち	202	35.8%
商工業が盛んなまち	87	15.4%
歴史・文化や自然を活かした観光のまち	166	29.4%
快適・安心に住める生活環境が整ったまち	245	43.4%
子育て支援や学校教育が充実したまち	138	24.4%
生涯学習・スポーツ・文化活動が充実したまち	54	9.6%
保健・福祉・医療が充実し、お年寄りや障がい者が安心して住めるまち	335	59.3%
地域コミュニティで支え合い暮らせるまち	44	7.8%
エネルギーの有効活用で快適に暮らせるまち	25	4.4%
小さくても将来にわたり便利で使いやすいまち（車に過度に頼らず生活できる）	254	45.0%
町民・事業者・行政が協働でまちづくりを進めるまち	70	12.4%
その他	10	1.8%
回答者数	565	

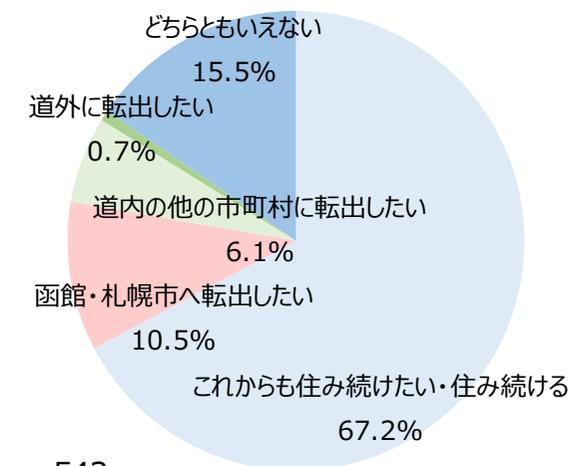


- ・ 江差町に望むものは、「保健・福祉・医療が充実し、お年寄りや障がい者が安心して住めるまち」が最も多く、335人59.3%。
- ・ 次いで、「小さくても将来にわたり便利で使いやすいまち（車に過度に頼らず生活できる）」は、254人45.0%、「快適・安心に住める生活環境が整ったまち」は、245人43.4%と3番目に多く、「農・林・漁業の地場産業が盛んなまち」は、4番目に多く、202人35.8%。

### Ⅲ 今後の居住意向について

【問13】 これからも江差町に住み続けたいと思いますか。〈SA〉（1つに○）

選択肢	回答数	構成比
これからも住み続けたい・住み続ける	365	67.2%
函館・札幌市へ転出したい	57	10.5%
道内の他の市町村に転出したい	33	6.1%
道外に転出したい	4	0.7%
どちらともいえない	84	15.5%
合計	543	100.0%



- これから住み続けたい・住み続ける
- 函館・札幌市へ転出したい
- 道内の他の市町村に転出したい
- 道外に転出したい
- どちらともいえない

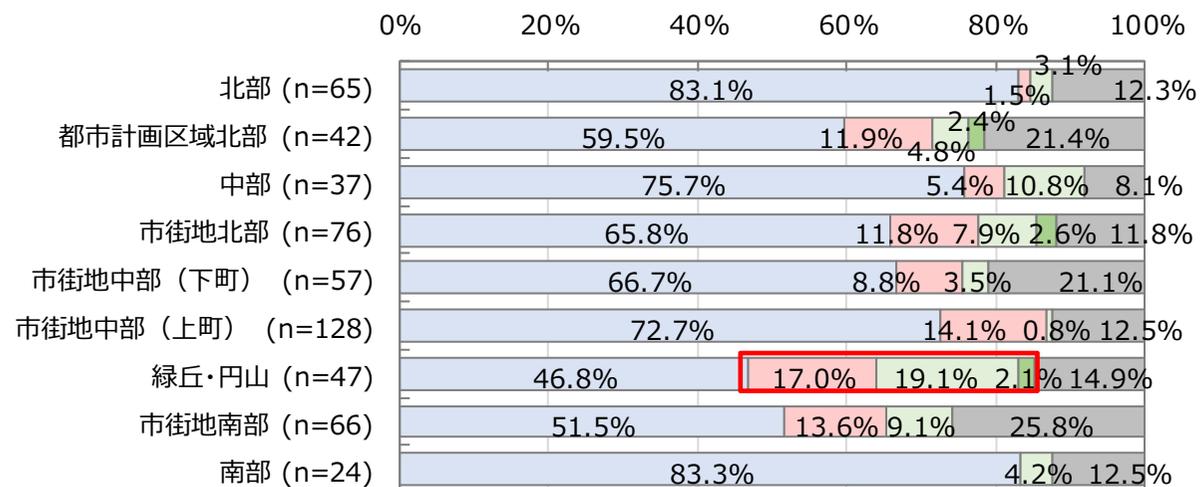
・ 居住の意向について、「これからも住み続けたい・住み続ける」が最も多く、365人67.2%。

### Ⅲ 今後の居住意向について

【地域別クロス集計】

【問13】 これからも江差町に住みたいと思いますか。〈SA〉（1つに○）

選択肢	北部	都市計画区域北部	中部	市街地北部	市街地中部(下町)	市街地中部(上町)	緑丘・円山	市街地南部	南部
これからも住みたい・住み続ける	54	25	28	50	38	93	22	34	20
函館・札幌市へ転出したい	1	5	2	9	5	18	8	9	0
道内の他の市町村に転出したい	2	2	4	6	2	1	9	6	1
道外に転出したい	0	1	0	2	0	0	1	0	0
どちらともいえない	8	9	3	9	12	16	7	17	3
合計	65	42	37	76	57	128	47	66	24



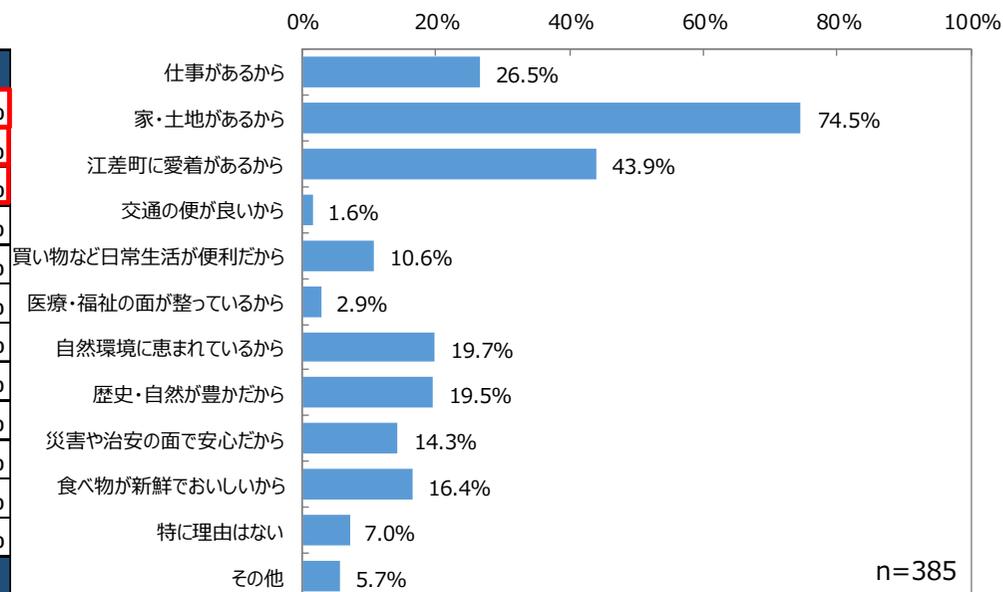
- これからも住みたい・住み続ける
- 函館・札幌市へ転出したい
- 道内の他の市町村に転出したい
- 道外に転出したい
- どちらともいえない

・ 地域別に見ると、多くの地区で約6割以上が「これからも住みたい・住み続ける」と回答しているが、緑丘・円山では、「函館・札幌市へ転出したい」と「道内他市町村に転出したい」、「道外に転出したい」を合わせると4割弱。

### Ⅲ 今後の居住意向について

【問13-1】 問13の①を選んだ方にお聞きします。江差町に住み続けたい理由は何ですか。  
 <MA> (あてはまる全てに○)

選択肢	回答数	構成比
仕事があるから	102	26.5%
家・土地があるから	287	74.5%
江差町に愛着があるから	169	43.9%
交通の便が良いから	6	1.6%
買い物など日常生活が便利だから	41	10.6%
医療・福祉の面が整っているから	11	2.9%
自然環境に恵まれているから	76	19.7%
歴史・自然が豊かだから	75	19.5%
災害や治安の面で安心だから	55	14.3%
食べ物が新鮮でおいしいから	63	16.4%
特に理由はない	27	7.0%
その他	22	5.7%
回答者数	385	

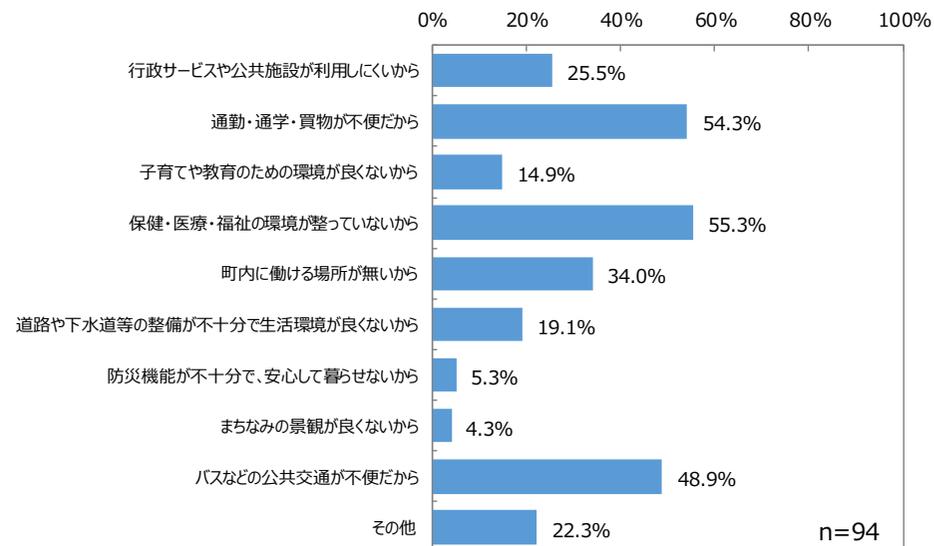


- ・ 江差町に住み続けたい理由は、「家・土地があるから」が最も多く、287人74.5%。
- ・ 次いで、「江差町に愛着があるから」が2番目に多く、169人43.9%、「仕事があるから」は、102人26.5%と3番目に多い。

### Ⅲ 今後の居住意向について

【問13-2】 問13の②、③、④を選んだ方にお聞きします。別の場所に移りたい理由は何ですか。  
 <MA> (あてはまる全てに○)

選択肢	回答数	構成比
行政サービスや公共施設が利用しにくいから	24	25.5%
通勤・通学・買物が不便だから	51	54.3%
子育てや教育のための環境が良くないから	14	14.9%
保健・医療・福祉の環境が整っていないから	52	55.3%
町内に働ける場所が無いから	32	34.0%
道路や下水道等の整備が不十分で生活環境が良くないから	18	19.1%
防災機能が不十分で、安心して暮らせないから	5	5.3%
まちなみの景観が良くないから	4	4.3%
バスなどの公共交通が不便だから	46	48.9%
その他	21	22.3%
回答者数	94	



- ・別の場所に移りたい理由は、「保健・医療・福祉の環境が整っていないから」が最も多く、60人56.1%。
- ・次いで、「通勤・通学・買い物が不便だから」が多く、55人51.4%、「バスなどの公共交通が不便だから」が49人45.8%。

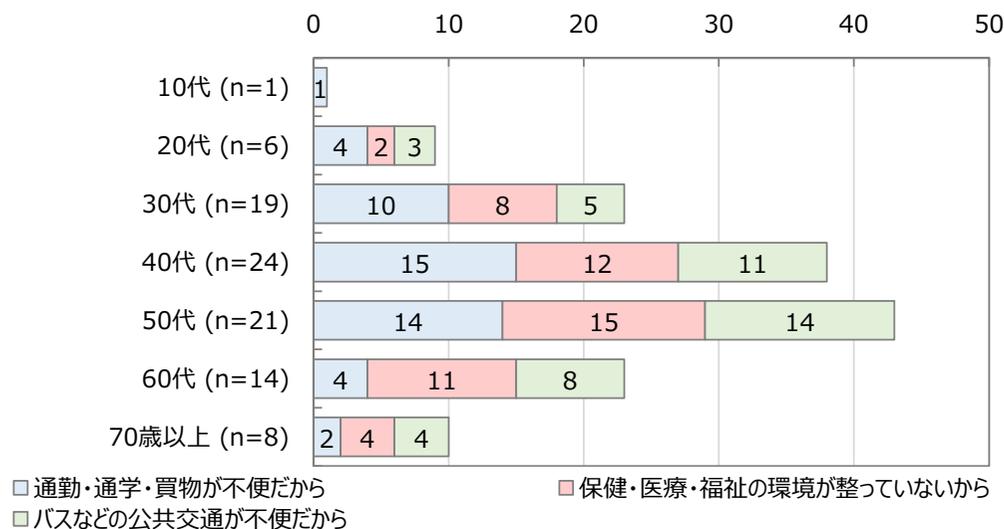
### Ⅲ 今後の居住意向について

【年齢別クロス集計】

【問13-2】 問13の②、③、④を選んだ方にお聞きします。別の場所に移りたい理由は何ですか。  
 <MA> (あてはまる全てに○)

選択肢	10代 (n=1)	20代 (n=6)	30代 (n=19)	40代 (n=24)	50代 (n=21)	60代 (n=14)	70歳以上 (n=8)
通勤・通学・買物が不便だから	1	4	10	15	14	4	2
保健・医療・福祉の環境が整っていないから	0	2	8	12	15	11	4
バスなどの公共交通が不便だから	0	3	5	11	14	8	4
回答者数	1	5	14	19	18	12	7

※上位3つの理由についてクロス集計



・別の場所に移りたい上位の理由の回答数を年齢別で見ると、40代、50代で多くなっている。

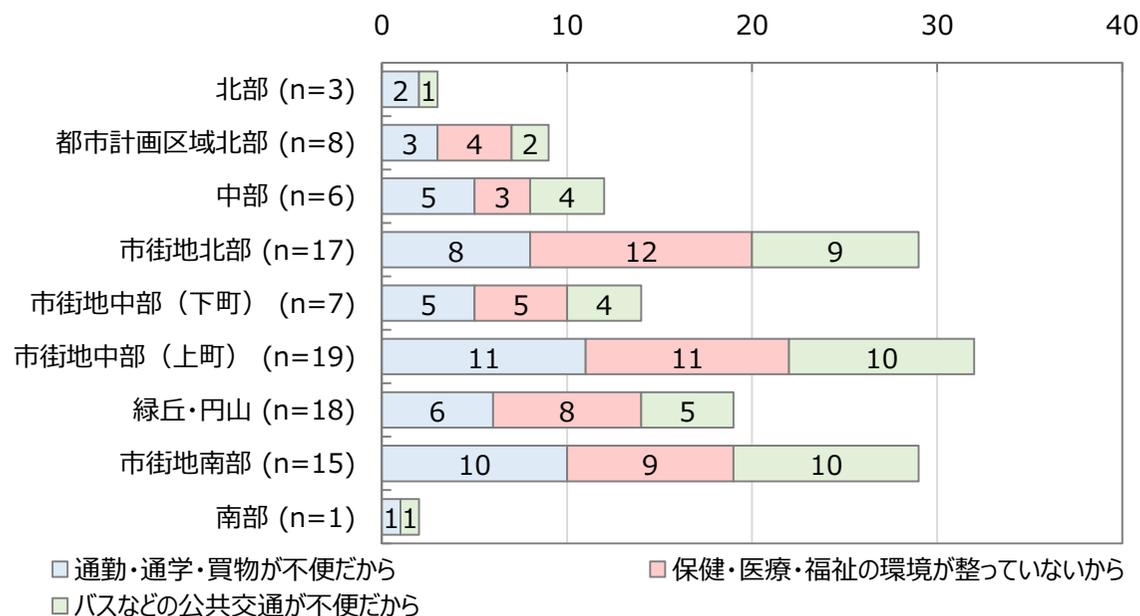
### Ⅲ 今後の居住意向について

【地域別クロス集計】

【問13-2】 問13の②、③、④を選んだ方にお聞きします。別の場所に移りたい理由は何ですか。  
 <MA> (あてはまる全てに○)

選択肢	北部 (n=3)	都市計画区		市街地北部 (n=17)	市街地中部 (下町) (n=7)	市街地中部 (上町) (n=19)	緑丘・円山 (n=18)	市街地南部 (n=15)	南部 (n=1)
		域北部 (n=8)	中部 (n=6)						
通勤・通学・買物が不便だから	2	3	5	8	5	11	6	10	1
保健・医療・福祉の環境が整っていないから	0	4	3	12	5	11	8	9	0
バスなどの公共交通が不便だから	1	2	4	9	4	10	5	10	1
回答者数	3	8	12	29	14	32	19	29	2

※上位3つの理由についてクロス集計



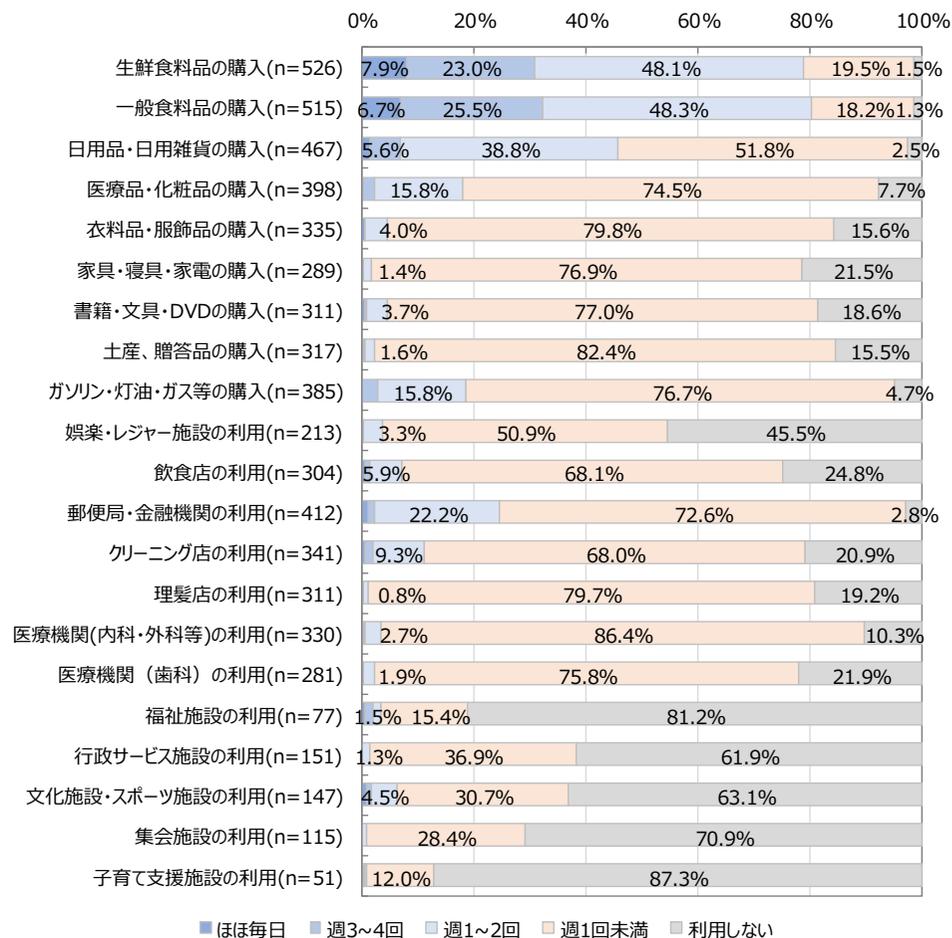
・別の場所に移りたい上位の理由の回答数を地域別で見ると、市街地北部、市街地中部（上町）、市街地南部で多くなっている。

# IV 市街地・中心市街地の利用実態と今後のあり方について

【利用頻度】

【問14】 現在お住まいの環境に関して、下記の目的で店舗や施設を利用する頻度や場所についてお教えてください。＜SA＞（1～21の項目ごとに該当箇所に○）

選択肢	ほぼ毎日	週3～4回	週1～2回	週1回未満	利用しない
生鮮食料品の購入	42	123	257	104	8
一般食料品の購入	35	133	252	95	7
日用品・日用雑貨の購入	6	27	186	248	12
医療品・化粧品 of 購入	1	8	68	321	33
衣料品・服飾品の購入	2	0	16	317	62
家具・寝具・家電の購入	1	0	5	283	79
書籍・文具・DVDの購入	2	1	14	294	71
土産、贈答品の購入	1	1	6	309	58
ガソリン・灯油・ガス等の購入	0	11	64	310	19
娯楽・レジャー施設の利用	0	1	13	199	178
飲食店の利用	2	3	24	275	100
郵便局・金融機関の利用	5	5	94	308	12
クリーニング店の利用	2	6	40	293	90
理髪店の利用	0	1	3	307	74
医療機関(内科・外科等)の利用	1	1	10	318	38
医療機関(歯科)の利用	1	0	7	273	79
福祉施設の利用	2	6	6	63	332
行政サービス施設の利用	0	0	5	146	245
文化施設・スポーツ施設の利用	3	4	18	122	251
集会施設の利用	0	0	3	112	280
子育て支援施設の利用	1	1	1	48	350



- ・ 食料品の購入は、「週1～2回」が多く、その他の最寄品や買回品、専門品等の購入は、「週1回未満」が最も多い。
- ・ 施設の利用について、福祉施設・行政サービス施設・文化スポーツ施設・集会施設・子育て支援施設は、「利用しない」が最も多い。
- ・ 娯楽レジャー施設・飲食店・郵便局・金融機関・クリーニング店・理髪店・医療機関の利用は、「週1回未満」が最も多い。

## IV 市街地・中心市街地の利用実態と今後のあり方について【利用頻度・年齢別クロス集計】

【問14】 現在お住まいの環境に関して、下記の目的で店舗や施設を利用する頻度や場所についてお教えてください。〈SA〉（1~21の項目ごとに該当箇所に○）

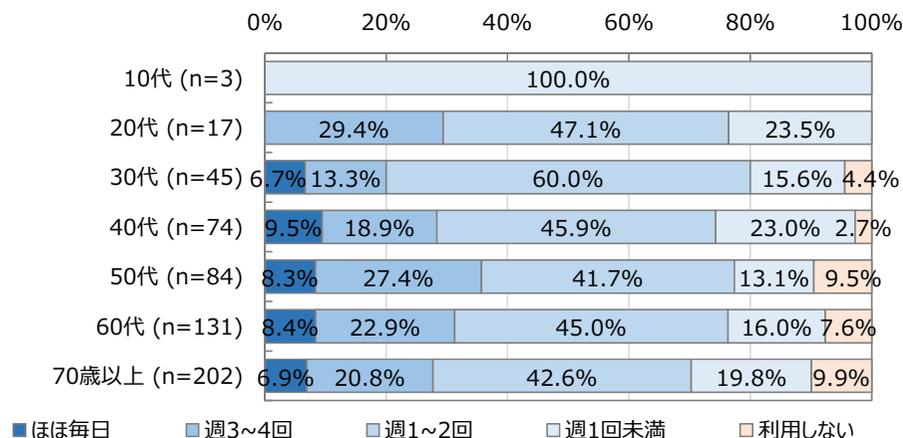


図 生鮮食料品の購入（年齢別）

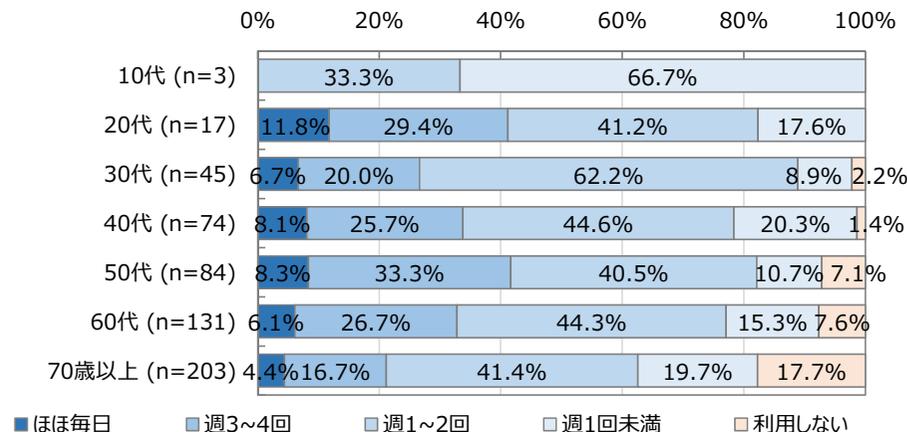


図 一般食料品の購入（年齢別）

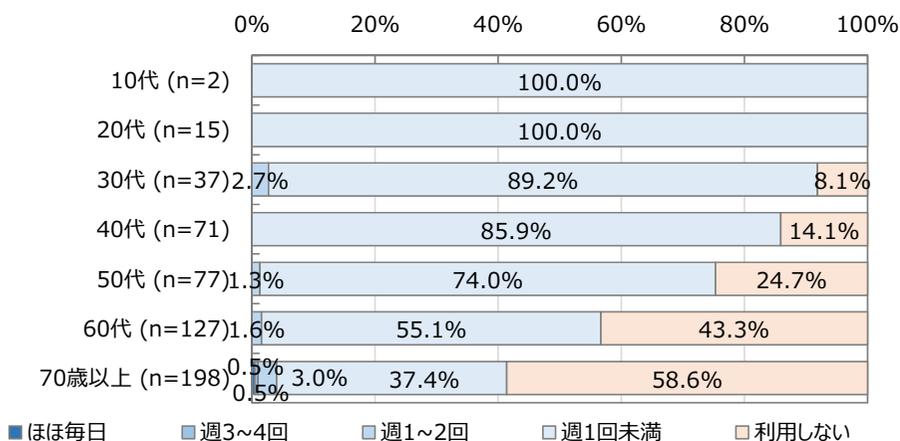


図 医療機関(内科・外科等)の利用（年齢別）

- ・ 生鮮食品の購入については、各年代とも、利用頻度は、週1~2回が最も多い。
- ・ 一般食料品の購入については、生鮮食品と同様の傾向。
- ・ 医療機関（内科・外科等）の利用は、高齢になるほど、「利用しない」割合が高い。

## IV 市街地・中心市街地の利用実態と今後のあり方について【利用頻度・地域別クロス集計】

【問14】 現在お住まいの環境に関して、下記の目的で店舗や施設を利用する頻度や場所についてお教えてください。<SA> (1~21の項目ごとに該当箇所に○)

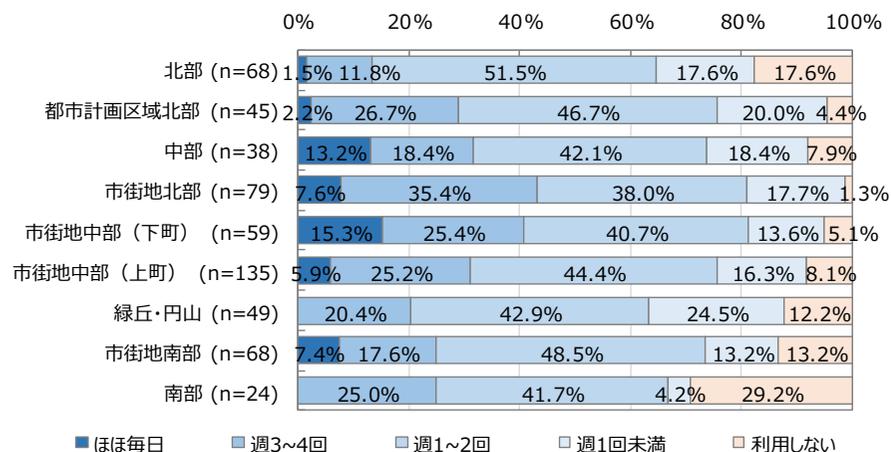


図 生鮮食料品の購入（地域別）

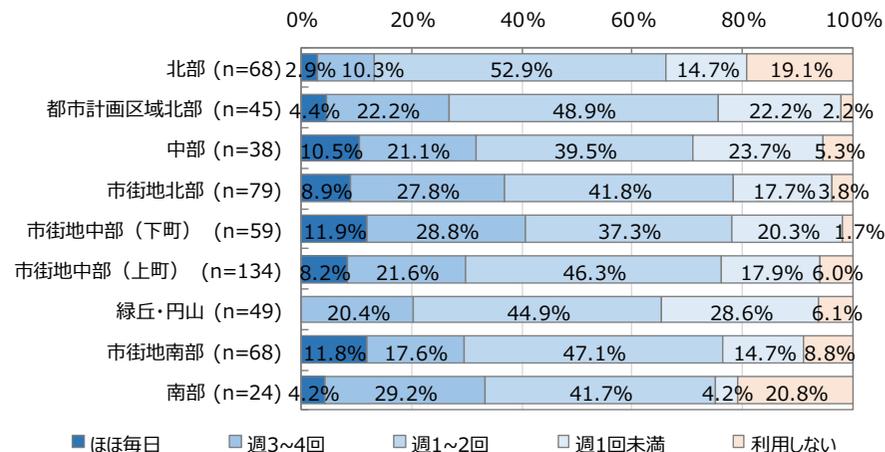


図 一般食料品の購入（地域別）

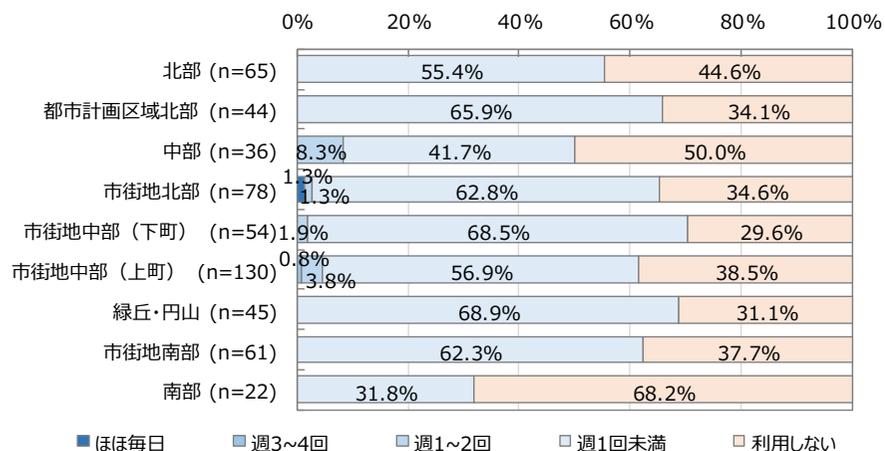


図 医療機関(内科・外科等)の利用（地域別）

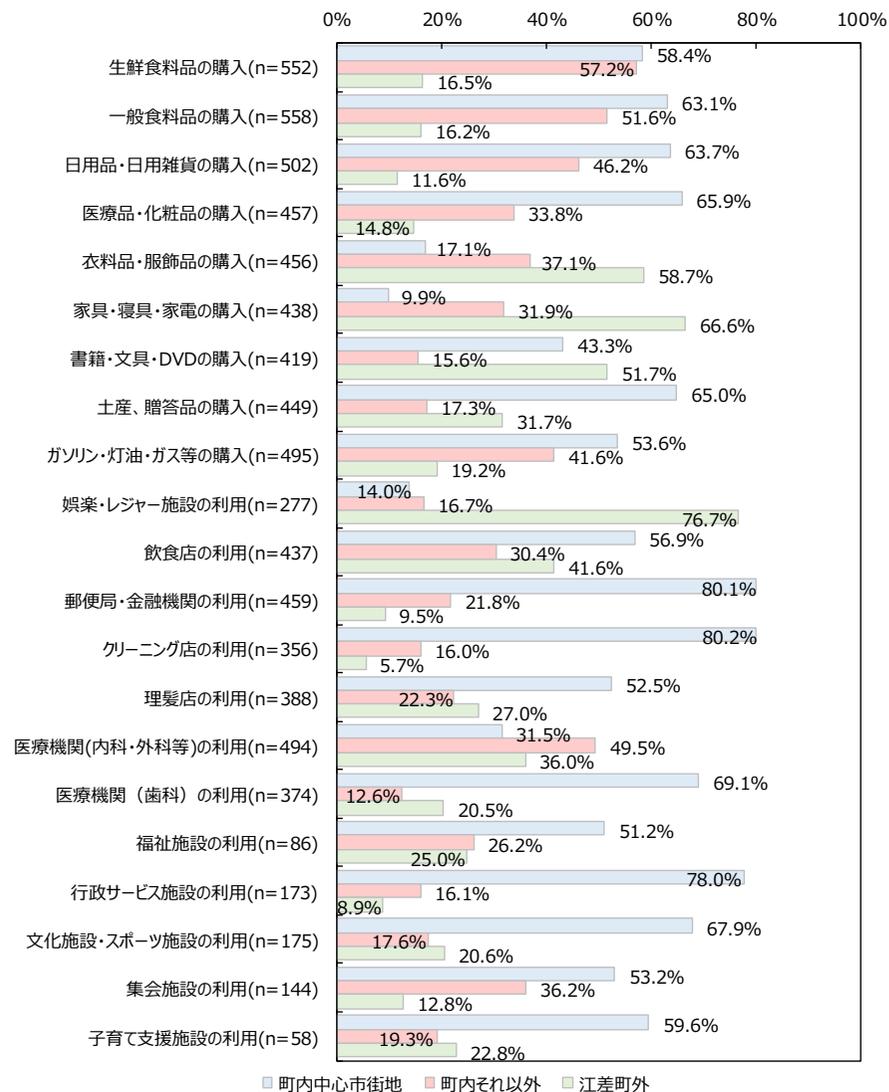
- 一般食料品の購入については、生鮮食品と同様の傾向。
- 生鮮食品の購入については、地域別で大きな差異はなく、利用頻度は、週1~2回。
- 医療機関(内科・外科等)の利用は、南部の利用頻度が低く、「週1回未満」。

# IV 市街地・中心市街地の利用実態と今後のあり方について

【利用場所】

【問14】 現在お住まいの環境に関して、下記の目的で店舗や施設を利用する頻度や場所についてお教えてください。<SA> (1~21の項目ごとに該当箇所に○)

選択肢	町内中心市街地	町内それ以外	江差町外
生鮮食料品の購入	244	239	69
一般食料品の購入	269	220	69
日用品・日用雑貨の購入	263	191	48
医療品・化粧品の購入	263	135	59
衣料品・服飾品の購入	69	150	237
家具・寝具・家電の購入	40	129	269
書籍・文具・DVDの購入	164	59	196
土産、贈答品の購入	256	68	125
ガソリン・灯油・ガス等の購入	232	180	83
娯楽・レジャー施設の利用	36	43	198
飲食店の利用	193	103	141
郵便局・金融機関の利用	330	90	39
クリーニング店の利用	280	56	20
理髪店の利用	200	85	103
医療機関(内科・外科等)の利用	133	209	152
医療機関(歯科)の利用	253	46	75
福祉施設の利用	43	22	21
行政サービス施設の利用	131	27	15
文化施設・スポーツ施設の利用	112	29	34
集会施設の利用	75	51	18
子育て支援施設の利用	34	11	13



- ・衣料品・服飾品の購入、家具・寝具・家電の購入、書籍・文具・DVDの購入、娯楽・レジャー施設の利用については、「江差町外」が最も多い。
- ・医療機関(内科・外科等)の利用については、「町内それ以外」で利用することが最も多い。
- ・その他の最寄品や買回品、専門品等の購入、施設等の利用は、「町内中心市街地」が最も多い。

# IV 市街地・中心市街地の利用実態と今後のあり方について 【利用場所・地域別クロス集計】

【問14】 現在お住まいの環境に関して、下記の目的で店舗や施設を利用する頻度や場所についてお教えてください。<SA> (1~21の項目ごとに該当箇所に○)

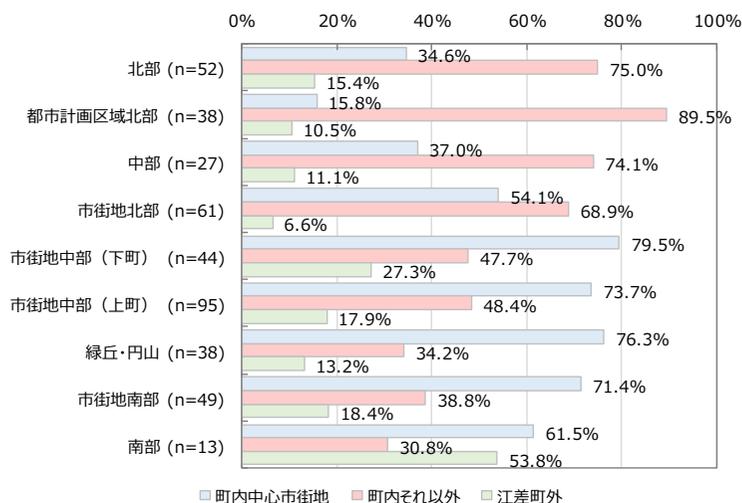


図 一般食料品の購入 (利用場所)

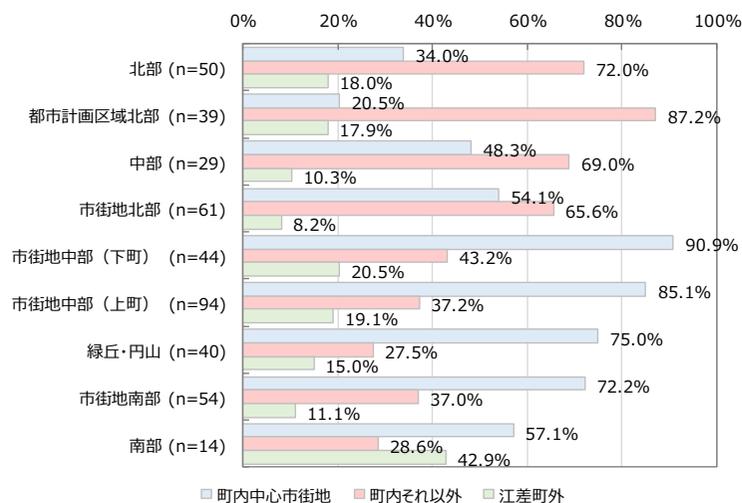


図 生鮮食料品の購入 (利用場所)

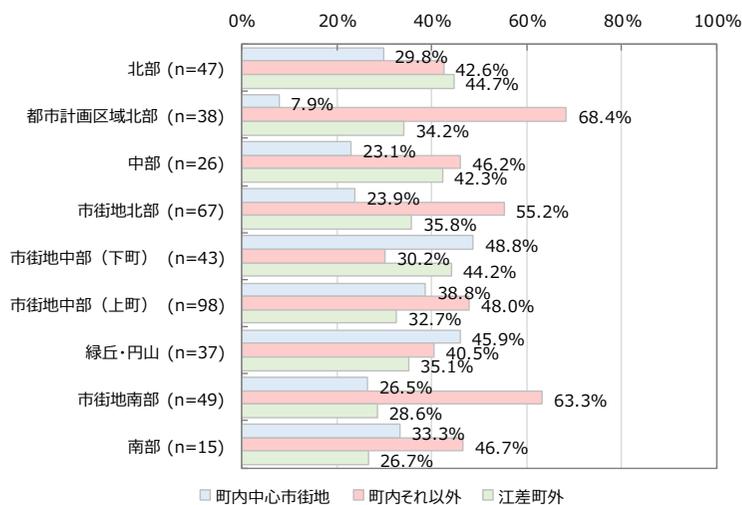


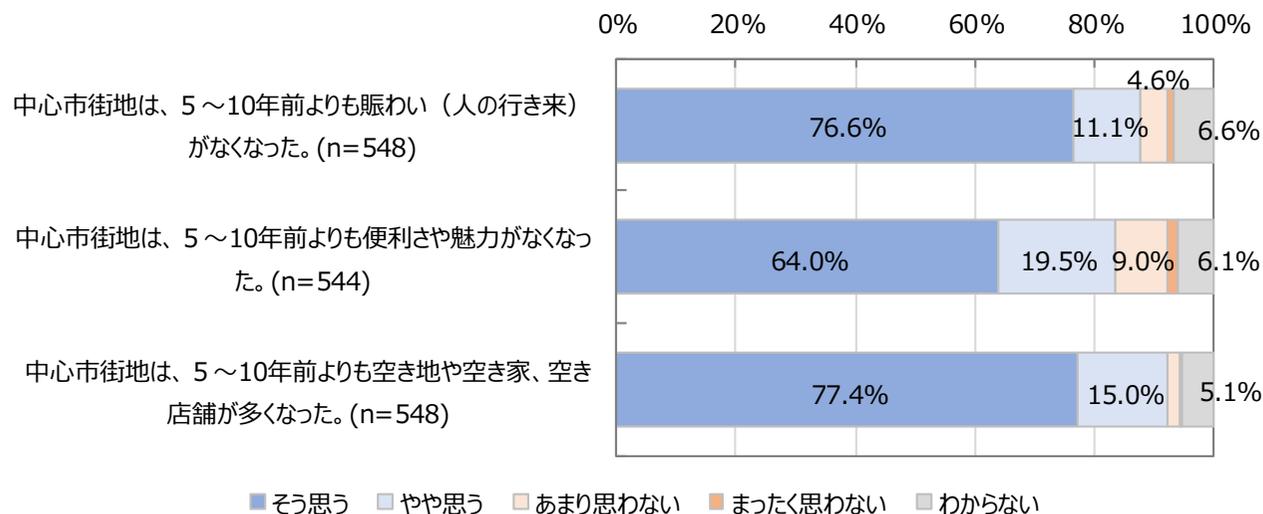
図 医療機関 (内科・外科等) (利用場所)

- 一般食品の購入については、生鮮食料品の購入と同様の傾向。
- 生鮮食料品の購入は、市街地中部 (下町)、市街地中部 (上町)、緑丘・円山、市街地南部、南部では、「町内中心市街地」が多く、それ以外は、「町内中心市街地以外」での購入が多い。また、南部では、江差町外での購入も多い。
- 医療機関 (内科・外科等) については、「町内中心市街地以外」の利用が多いが、市街地中部 (下町)、緑丘・円山では、町内中心市街地での利用が多い。一方、北部では、江差町外の利用が多い。

## IV 市街地・中心市街地の利用実態と今後のあり方について

【問15】 中心市街地の現状に関して、5～10年前と比べ、どう感じていますか。  
 <SA> (5段階の最も近いものに○)

選択肢	そう思う	やや思う	あまり思わない	まったく思わない	わからない
中心市街地は、5～10年前よりも賑わい（人の行き来）がなくなった。	420	61	25	6	36
中心市街地は、5～10年前よりも便利さや魅力がなくなった。	348	106	49	8	33
中心市街地は、5～10年前よりも空き地や空き家、空き店舗が多くなった。	424	82	11	3	28

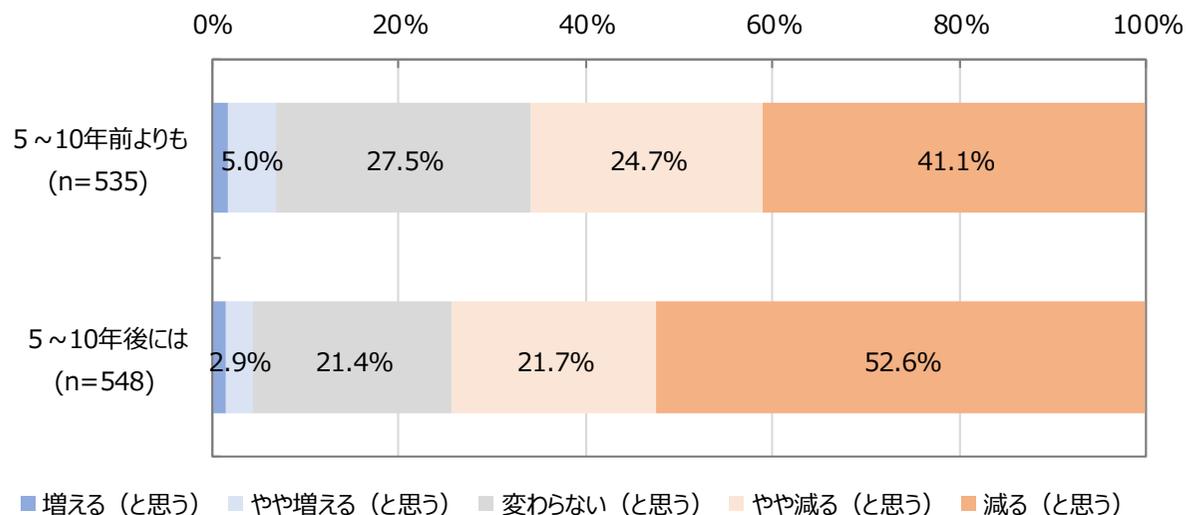


- 中心市街地について、5～10年前より「賑わい（人の行き来）」や「便利さや魅力」がなくなり、「空き地や空き家、空き店舗が多くなった」と感じる人が約7割。

## IV 市街地・中心市街地の利用実態と今後のあり方について

【問16】 中心市街地のあなたの利用状況（頻度・時間）に関して、5～10年前と今を比べて、どのように変わりましたか。また、年齢などを考えると5～10年後にはどう変わると思いますか。  
 <SA>（当てはまるものに○）

選択肢	増えた ・ 増える	やや増えた ・ やや増える	変わらない	やや減った ・ やや減る	減った ・ 減る
5～10年前よりも	9	27	147	132	220
5～10年後には	8	16	117	119	288

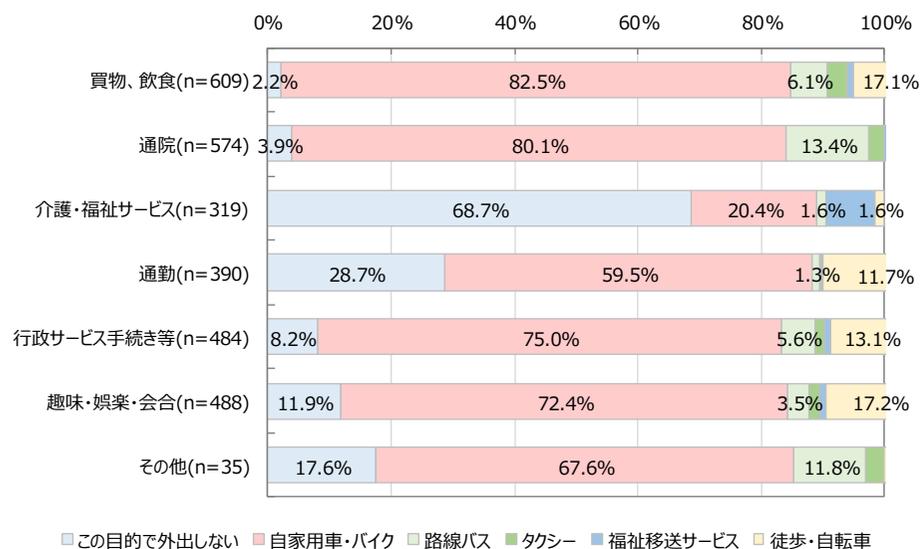


- 5～10年前よりも、中心市街地の利用頻度が「減った」と思う人が最も多く、220人41.1%。
- 5～10年後には、中心市街地の利用頻度が「減る」と思う人が最も多く、288人52.6%。

## IV 市街地・中心市街地の利用実態と今後のあり方について

【問17】 お出かけの目的別に最もよく使う移動手段について教えてください。  
 <MA> (①～⑦の「A 最もよく使う移動手段」の該当箇所に○をご記入ください)

選択肢	この目的で外出しない	自家用車・バイク	路線バス	タクシー	福祉移送サービス	徒歩・自転車
買物、飲食	12	448	33	17	6	93
通院	21	432	72	13	12	24
介護・福祉サービス	219	65	5	0	25	5
通勤	110	228	5	1	1	45
行政サービス手続き等	38	348	26	7	4	61
趣味・娯楽・会合	54	328	16	7	5	78
その他	6	23	4	1	0	1

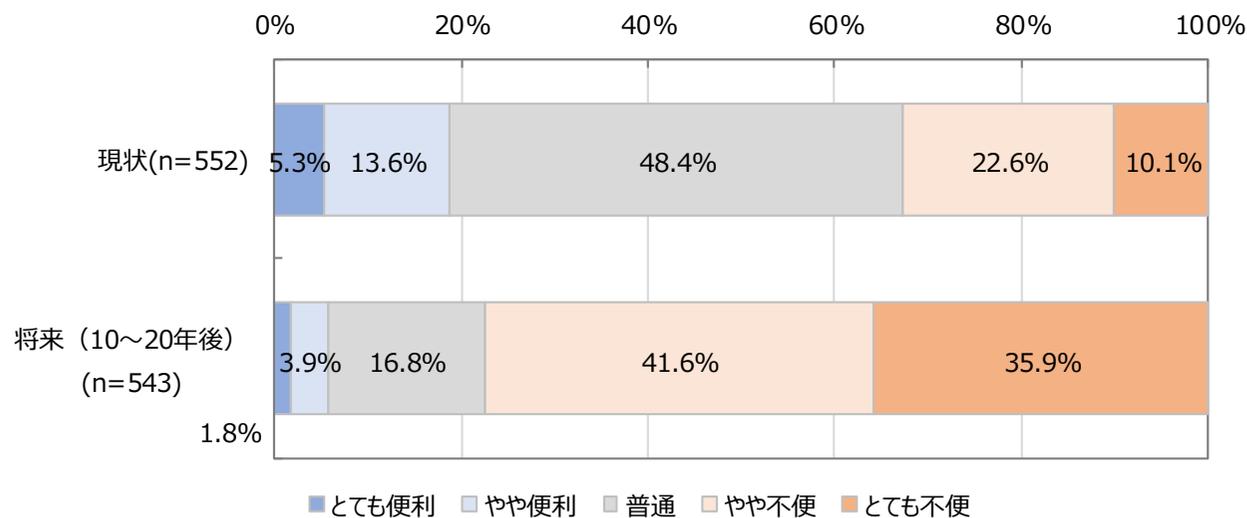


- ・ 介護・福祉サービスについては、「この目的で外出しない」が最も多く、219人68.7%。
- ・ その他の目的では、「自家用車・バイク」での移動手段が最も多い。

## IV 市街地・中心市街地の利用実態と今後のあり方について

【問18】 全体的に自宅からお出かけ先への利便性（施設の立地と移動手段）を現状で便利だと思いますか。また、将来（10～20年後）の利便性に不安がありますか。〈SA〉（①、②の該当箇所に○）

選択肢	とても便利	やや便利	普通	やや不便	とても不便
現状	29	75	267	125	56
将来（10～20年後）	10	21	91	226	195

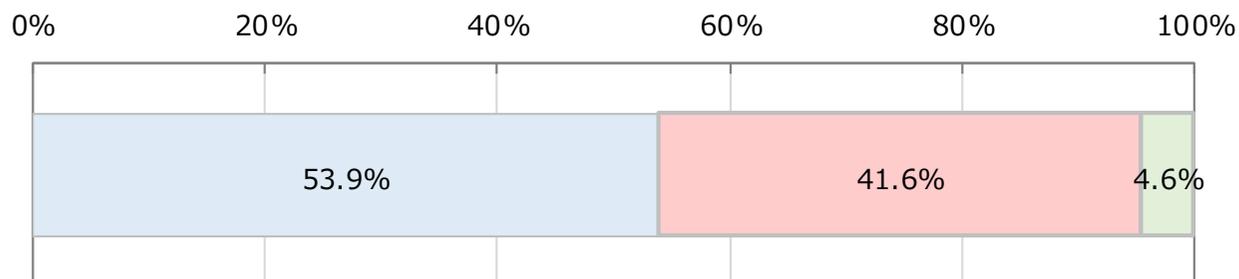


- ・施設の立地と移動手段の利便性について、「普通」と思う人が最も多く、267人48.4%。
- ・将来（10～20年後）の利便性について、「やや不便」と思う人が最も多く、226人41.6%。

## V 将来（10年～20年後）のまちづくりについて

【問19】 「中心市街地へ都市機能を集める」ことについてどうお考えですか。  
<SA>（最も近い考え1つに○）

選択肢	回答数	構成比
江差町を活性化するのに、まずは中心市街地に各種施設を集めるのは必要である。	284	53.9%
中心市街地も重要だが、北部の伏木戸町・柳崎町の市街地も生活上重要である。	219	41.6%
その他	24	4.6%
合計	527	100.0%



- 江差町を活性化するのに、まずは中心市街地に各種施設を集めるのは必要である。
- 中心市街地も重要だが、北部の伏木戸町・柳崎町の市街地も生活上重要である。
- その他

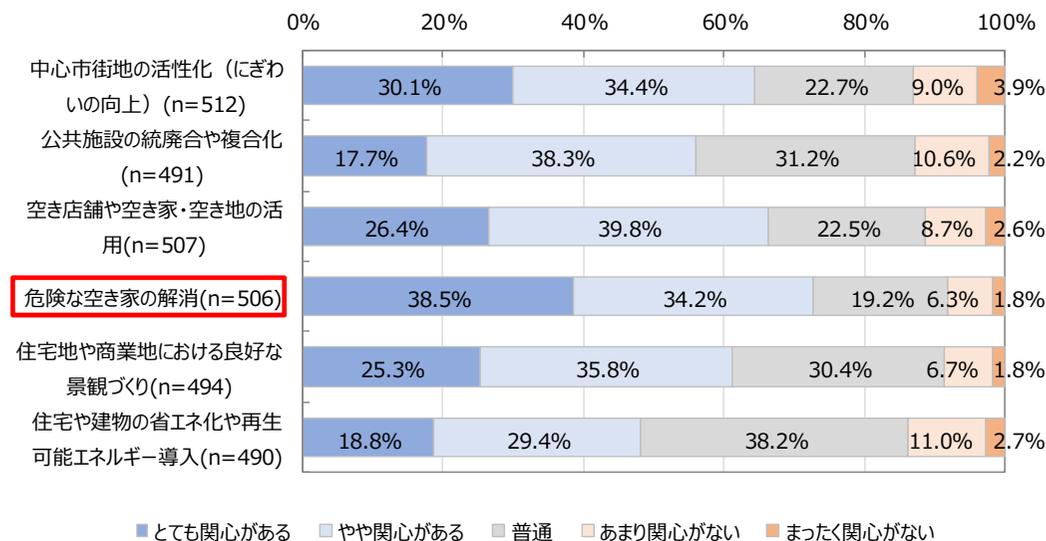
n=527

・「江差町を活性化するのに、まずは中心市街地に各種施設を集めるのは必要である」と考える人が半数以上。

## V 将来（10年～20年後）のまちづくりについて

【問20】 中心市街地を含む市街地全般の施設整備や土地利用について、関心のある問題をお答えください。  
 <SA> （5段階のうちあなたの考えに最も近いもの1つに○）

選択肢	とても関心がある	やや関心がある	普通	あまり関心がない	まったく関心がない
中心市街地の活性化（にぎわいの向上）	154	176	116	46	20
公共施設の統廃合や複合化	87	188	153	52	11
空き店舗や空き家・空き地の活用	134	202	114	44	13
危険な空き家の解消	195	173	97	32	9
住宅地や商業地における良好な景観づくり	125	177	150	33	9
住宅や建物の省エネ化や再生可能エネルギー導入	92	144	187	54	13

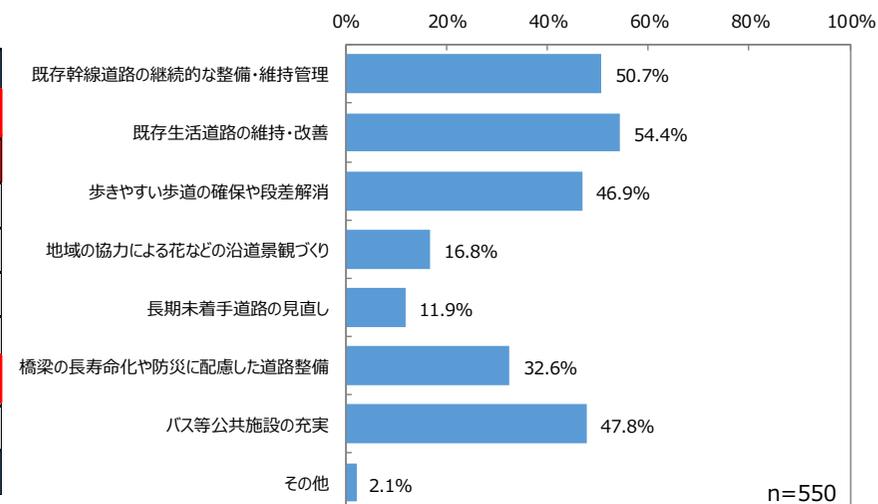


- ・ 市街地の施設整備や土地利用について、「とても関心がある」の割合が最も大きい項目は、「危険な空き家の解消」で195人38.5%。
- ・ 次に、「中心市街地の活性化（にぎわいの向上）」が2番目に多く、154人30.1%。3番目は「空き店舗や空き家・空き地の活用」が134人26.4%。

## V 将来（10年～20年後）のまちづくりについて

【問21】 今後の「道路・交通施設の整備・維持管理」で、関心の高い取り組みはどれですか。  
 <MA>（3つまでに○）

選択肢	回答数	構成比
既存幹線道路の継続的な整備・維持管理	279	50.7%
既存生活道路の維持・改善	299	54.4%
歩きやすい歩道の確保や段差解消	258	46.9%
地域の協力による花などの沿道景観づくり	95	16.8%
長期未着手道路の見直し	67	11.9%
橋梁の長寿命化や防災に配慮した道路整備	184	32.6%
バス等公共施設の充実	270	47.8%
その他	12	2.1%
回答者数	550	

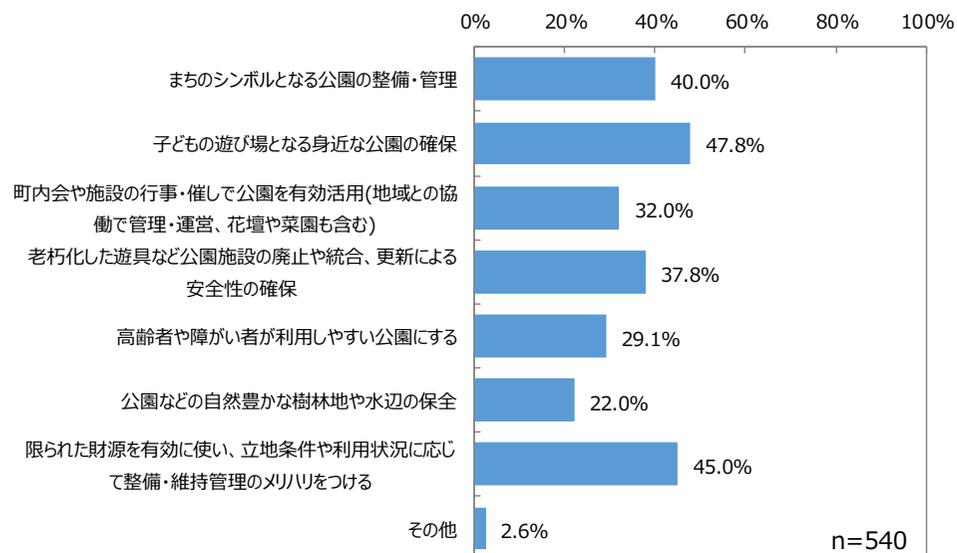


- 今後の道路・交通施設の整備・維持管理で関心が高い項目は、「既存生活道路の維持・改善」が最も多く、299人54.4%。
- 次いで、「既存幹線道路の継続的な整備・維持管理」が2番目に多く、279人50.7%。
- 「バス等公共施設の充実」は、270人47.8%と3番目に多い。

## V 将来（10年～20年後）のまちづくりについて

【問22】 今後の「公園・緑地の整備・維持管理」で、関心の高い取り組みはどれですか。  
 <MA>（3つまでに○）

選択肢	回答数	構成比
まちのシンボルとなる公園の整備・管理	216	40.0%
子どもの遊び場となる身近な公園の確保	258	47.8%
町内会や施設の行事・催して公園を有効活用(地域との協働で管理・運営、花壇や菜園も含む)	173	32.0%
老朽化した遊具など公園施設の廃止や統合、更新による安全性の確保	204	37.8%
高齢者や障がい者が利用しやすい公園にする	157	29.1%
公園などの自然豊かな樹林地や水辺の保全	119	22.0%
限られた財源を有効に使い、立地条件や利用状況に応じて整備・維持管理のメリハリをつける	243	45.0%
その他	14	2.6%
回答者数	540	

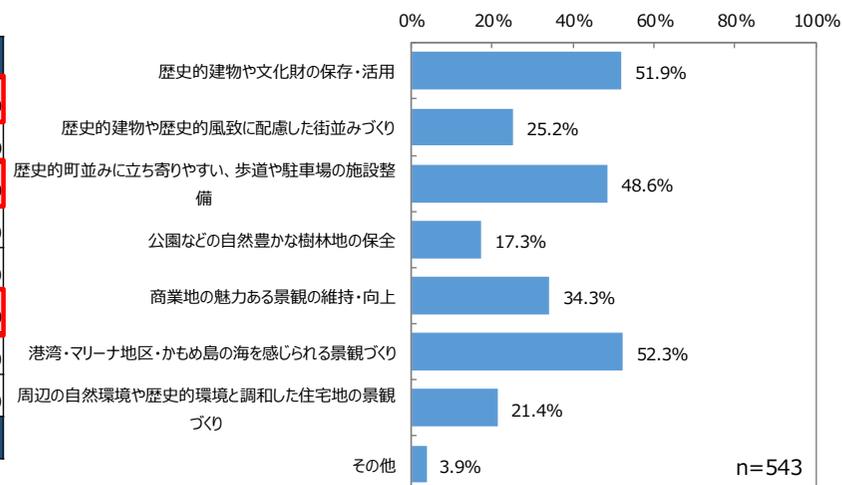


- 今後の公園・緑地の整備・維持管理で関心の高い取り組みは、「子供の遊び場となる身近な公園の確保」が最も多く、258人47.8%。
- 次いで、「限られた財源を有効に使い、立地条件や利用状況に応じて整備・維持管理のメリハリをつける」が多く、243人45.0%。
- 3番目に関心が高い取り組みは、「まちのシンボルとなる公園の整備・管理」が多く、216人40.0%。

## V 将来（10年～20年後）のまちづくりについて

【問23】 今後の「都市景観づくり」で、関心の高い取り組みはどれですか。〈MA〉（3つまでに○）

選択肢	回答数	構成比
歴史的建物や文化財の保存・活用	282	51.9%
歴史的建物や歴史的風致に配慮した街並みづくり	137	25.2%
歴史的町並みに立ち寄りやすい、歩道や駐車場の施設整備	264	48.6%
公園などの自然豊かな樹林地の保全	94	17.3%
商業地の魅力ある景観の維持・向上	186	34.3%
港湾・マリーナ地区・かもめ島の海を感じられる景観づくり	284	52.3%
周辺の自然環境や歴史的環境と調和した住宅地の景観づくり	116	21.4%
その他	21	3.9%
回答者数	543	

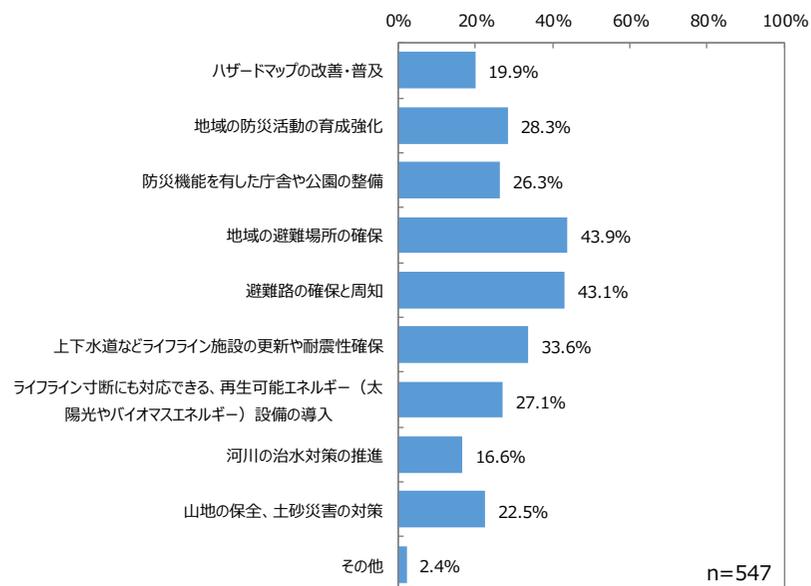


- 今後の都市景観づくりで関心の高い取り組みは、「港湾・マリーナ地区・かもめ島の海を感じられる景観づくり」が最も多く、284人52.3%。
- 次いで、「歴史的建造物や文化財の保存・活用」が多く、282人51.9%。
- 3番目に関心が高い取り組みは、「歴史的町並みに立ち寄りやすい、歩道や駐車場の施設整備」が多く、264人48.6%。

## V 将来（10年～20年後）のまちづくりについて

【問24】 今後の「防災まちづくり」で、関心の高い取り組みはどれですか。〈MA〉（3つまでに○）

選択肢	回答数	構成比
ハザードマップの改善・普及	109	19.9%
地域の防災活動の育成強化	155	28.3%
防災機能を有した庁舎や公園の整備	144	26.3%
地域の避難場所の確保	240	43.9%
避難路の確保と周知	236	43.1%
上下水道などライフライン施設の更新や耐震性確保	184	33.6%
ライフライン寸断にも対応できる、再生可能エネルギー（太陽光やバイオマスエネルギー）設備の導入	148	27.1%
河川の治水対策の推進	91	16.6%
山地の保全、土砂災害の対策	123	22.5%
その他	13	2.4%
回答者数	547	

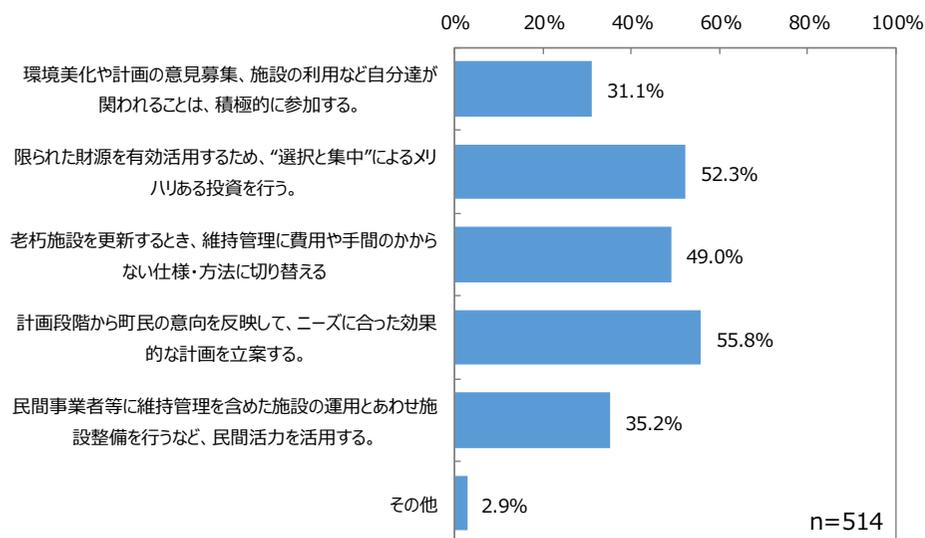


- 今後の防災まちづくりで関心の高い取り組みは、「地域の避難場所の確保」が最も多く、240人43.9%。
- 次いで、「避難路の確保と周知」が多く、236人43.1%。
- 3番目に関心の高い取り組みは、「上下水道などライフライン施設の更新や耐震性確保」が多く、184人33.6%。

## V 将来（10年～20年後）のまちづくりについて

【問25】 将来にわたって住み続けられる江差町を実現するため、今後求められるまちづくりの進め方は、どのようなものだと思いますか。〈MA〉（いくつでも○）

選択肢	回答数	構成比
環境美化や計画の意見募集、施設の利用など自分達が関われることは、積極的に参加する。	160	31.1%
限られた財源を有効活用するため、“選択と集中”によるメリハリある投資を行う。	269	52.3%
老朽施設を更新するとき、維持管理に費用や手間のかからない仕様・方法に切り替える	252	49.0%
計画段階から町民の意向を反映して、ニーズに合った効果的な計画を立案する。	287	55.8%
民間事業者等に維持管理を含めた施設の運用とあわせ施設整備を行うなど、民間活力を活用する。	181	35.2%
その他	15	2.9%
回答者数	514	



- 今後求められるまちづくりの進め方は、「計画段階から町民の意向を反映して、ニーズに合った効果的な計画を立案する」が最も多く、287人55.8%。
- 次いで、「限られた財源を有効活用するため、“選択と集中”による“メリハリある投資を行う」が多く、269人52.3%。
- 「老朽施設を更新するとき、維持管理に費用や手間のかからない仕様・方法に切り替える」が3番目に多く、252人49.0%。

## V 将来（10年～20年後）のまちづくりについて

---

【問26】 最後に、江差町のまちづくりについてお考えのことがありましたら、自由にお書きください。＜SA＞

自由記述 （省略）

# VI アンケート調査票

## 江差町のまちづくりに関する町民アンケート

アンケートにご協力をお願いします。

### I. あなたご自身についてお聞きます。

問1.性別をお教え下さい。(1つに○) ① 男性 ② 女性

問2.年齢をお教え下さい。(1つに○)  
 ① 10代 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70歳以上

問3.現在住んでいる地区をお教え下さい。(1つに○)

1.新栄町	2.愛宕町	3.豊川町	4.東山	5.桧岱	6.中歌町	7.姥神町
8.鷗島	9.津花町	10.上野町	11.橋本町	12.本町	13.新地町	14.緑丘
15.茂尻町	16.円山	17.陣屋町	18.海岸町	19.南浜町	20.柏町	21.南が丘
22.萩ノ岱	23.砂川	24.檜川町	25.大瀬町	26.泊町	27.尾山町	28.田沢町
29.伏木戸町	30.柳崎町	31.五厘沢町	32.水堀町	33.越前町	34.中綱町	
35.小黒部町	36.朝日町	37.鯛川町				

問4.ご職業をお教え下さい。(1つに○)

① 企業等の経営者・役員	② 会社員	③ 公務員	④ 自営業
⑤ パート・アルバイト	⑥ 主婦・主夫(家事専業)	⑦ 学生	⑧ 無職
⑨ その他 ( )			

問5.これまでに通算で江差町にどのくらいの期間住んでいますか。(1つに○)

① 5年未満 ② 5年以上10年未満 ③ 10年以上20年未満 ④ 20年以上

問6.現在の世帯の家族構成をお教え下さい。(1つに○)

① 単身世帯 ② 夫婦のみの世帯 ③ 2世代(親と子)  
 ④ 3世代(親、子、孫) ⑤ その他の世帯 ( )

問7.世帯の車の保有状況をお教え下さい。(1つに○)

① 家で車を持ち、自分で運転している ② 家に車はあるが、自分は運転していない  
 ③ 家で車を保有していない

問8.ご自宅から最寄りのバス停までの徒歩時間はどのくらいですか。(該当箇所)に○

	徒歩5分以内	徒歩5～10分	徒歩10～20分	徒歩20分以上
① 最寄りのバス停				

### II. 現在の江差町のまちづくりについてお聞きます。

問9.現在江差町が進めているまちづくりについての満足度と将来のまちづくりに向けた重要度について、どのように感じているかお教えください。(1.～25.の満足度・重要度それぞれ1つに○)

『満足度(良い・悪い)』 5(満足) 4(やや満足) 3(普通) 2(やや不満) 1(不満)  
 『将来の重要度』 5(重要) 4(やや重要) 3(普通) 2(あまり重要でない) 1(重要でない)

現在の江差町のまちづくり	満足度					将来の重要度				
	高	中	低	低	高	高	中	低	低	
(記入例) 5～1の数字1つに○ →	5	④	3	2	1	5	4	③	2	1
1.住宅の住みやすさ	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2.住宅地の景観や美化の状況	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3.お住まいの地区の施設の便利さ	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4.商業地の店舗等の賑わい	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5.観光地の賑わい	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6.工業・業務地や港湾の操業環境	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7.空き地や空き家・空き店舗の活用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8.国道・道道など幹線道路の整備状況	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9.身近な町道の整備・維持	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10.バスなど公共交通の状況	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11.市街地内の公園・広場の使い勝手	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12.市街地縁辺の森林・樹林地	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13.下水道などの処理施設	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14.商店街の街並み	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
15.歴史的な建物による景観	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
16.水田などの田園景観	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
17.鷗島やマリナなど海辺の景観	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
18.住宅や公共施設の省エネ化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
19.太陽光や風力など、再生可能エネルギーの導入	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
20.地域の防災体制(避難所、自主防災組織)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
21.協働による清掃活動や花壇づくりなど	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
22.集まる場、サロンの運営・利用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
23.町民参加による、まちづくりの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
24.効果的で効率的な行政運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
25.近隣市町村との連携強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問10.「問9」を踏まえ、あなたは江差町での暮らしに全体的に満足していますか。(1つに○)

① とても満足 ② どちらかと言えば満足 ③ どちらかと言えば不満 ④ とても不満

# VI アンケート調査票

問 11.「問 9」でお答えいただいた中で、特に満足な（良いと思う）ところ、不満な（悪いと思う）ところがあれば具体的に書きてください。

① 特に満足な（良いと思う）ところ	② 特に不満な（悪いと思う）ところ
-------------------	-------------------

問 12.今後、江差町がどのようなまちであってほしいと考えますか。（優先的に望むもの3つに○）

① 農・林・漁業の地場産業が盛んなまち	② 商工業が盛んなまち
③ 歴史・文化や自然を活かした観光のまち	④ 快適・安心に住める生活環境が整ったまち
⑤ 子育て支援や学校教育が充実したまち	⑥ 生涯学習・スポーツ・文化活動が充実したまち
⑦ 保健・福祉・医療が充実し、お年寄りや障がい者が安心して住めるまち	
⑧ 地域コミュニティで支え合い暮らせるまち	⑨ エネルギーの有効活用で快適に暮らせるまち
⑩ 小さくても将来にわたり便利で使いやすいまち（車に過度に頼らず生活できる）	
⑪ 町民・事業者・行政が協働でまちづくりを進めるまち	
⑫ その他（	）

## Ⅲ. 今後の居住意向についてお聞きします。

問 13.これからも江差町に住み続けたいと思いますか。（1つに○）

① これからも住み続けたい・住み続ける	} → ①を選んだ方は <b>問 13-1</b> へお進みください。 } → ②、③、④を選んだ方は <b>問 13-2</b> へお進みください。 } → ⑤を選んだ方は <b>次のページ</b> へお進みください。
② 函館・札幌市へ転出したい	
③ 道内の他の市町村へ転出したい	
④ 道外へ転出したい	
⑤ どちらともいえない	

問 13-1 問 13の1を選んだ方にお聞きします。江差町に住み続けたい理由は何ですか。（あてはまる全てに○）

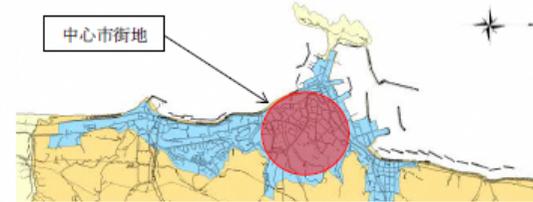
① 仕事があるから	② 家・土地があるから	③ 江差町に愛着があるから
④ 交通の便が良いから	⑤ 買い物など日常生活が便利だから	⑥ 医療・福祉の面が整っているから
⑦ 自然環境に恵まれているから	⑧ 歴史・自然が豊かだから	⑨ 災害や治安の面で安心だから
⑩ 食べ物新鮮でおいしいから	⑪ 特に理由はない	⑫ その他（

問 13-2 問 13の2、3、4を選んだ方にお聞きします。別の場所に移りたい理由は何ですか。（あてはまる全てに○）

① 行政サービスや公共施設が利用しにくいから	② 通勤・通学・買物が不便だから
③ 子育てや教育のための環境が良くないから	④ 保健・医療・福祉の環境が整っていないから
⑤ 町内に働ける場所が無いから	⑥ 道路や下水道等の整備が不十分で生活環境が良くないから
⑦ 防災機能が不十分で、安心して暮らせないから	⑧ まちなみの景観が良くないから
⑨ バスなどの公共交通が不便だから	⑩ その他（

## Ⅳ. 市街地・中心市街地の利用実態と今後のあり方についてお聞きします。

※ここでは、江差の「中心市街地」は、右図の丸印を概ねのエリアとして回答を進めてください。



問 14.現在お住まいの環境に関して、下記の目的で店舗や施設を利用する頻度や場所についてお教えください。（1～21の項目ごとに該当箇所に○）

生活利便施設 (おでかけ目的ごと)	利用する頻度 (1つに○)				利用する施設の場所 (複数選択可)				差支えなければ、 主に利用する店舗 (施設)名をお教え ください。
	ほぼ毎日	週3 ～ 4回	週1 ～ 2回	週1回 未満	利用しない	中心市街地	以外の町内	中心市街地 以外	
1. 生鮮食品の購入									
2. 一般食品の購入									
3. 日用品・日用雑貨の購入									
4. 医療品・化粧品等の購入									
5. 衣料品・服飾品の購入									
6. 家具・寝具・家電の購入									
7. 書籍・文具・DVDの購入									
8. 土産、贈答品の購入									
9. ガソリン・灯油・ガス等の購入									
10. 娯楽・レジャー施設の利用									
11. 飲食店の利用									
12. 郵便局・金融機関の利用									
13. クリーニング店の利用									
14. 理髪店の利用									
15. 医療機関(内科・外科等)の利用									
16. 医療機関(歯科)の利用									
17. 福祉施設の利用									
18. 行政サービス施設の利用									
19. 文化施設・スポーツ施設の利用									
20. 集会施設の利用									
21. 子育て支援施設の利用									

# VI アンケート調査票

問 15. 中心市街地の現状に関して、5～10年前と比べ、どう感じていますか。(5段階の最も近いものに○)

	そう思う	やや思う	あまり 思わない	まったく 思わない	わから ない
① 中心市街地は、5～10年前よりも賑わい(人の行き来)がなくなった。					
② 中心市街地は、5～10年前よりも便利さや魅力がなくなった。					
③ 中心市街地は、5～10年前よりも空き地や空き家、空き店舗が多くなった。					
その他、中心市街地について気になることがあればお書きください。					

問 16. 中心市街地のあなたの利用状況(頻度・時間)に関して、5～10年前と今を比べて、どのように変わりましたか。また、加齢などを考えると5～10年後にはどう変わるとお考えですか。(当てはまるものに○)

	中心市街地へのお出かけ(利用)の頻度や時間				
(1) 5～10年前よりも	①増えた	②やや増えた	③かわらない	④やや減った	⑤減った
(2) 5～10年後には	①増えると思う	②やや増えると思う	③かわらないと思う	④やや減ると思う	⑤減ると思う

問 17. お出かけの目的別に最もよく使う移動手段についてお教えてください。(①～⑦の「A.最もよく使う移動手段」の該当箇所に○をご記入ください)

お出かけの目的 ①～⑦	A.最もよく使う移動手段 ※1回の移動で複数手段を利用する場合は重複して○をつけて構いません					
	この目的で 外出しない	自家用の 車・バイク	路線バス	タクシー	福祉移送 サービス	徒歩・ 自転車
① 買物、飲食						
② 通院						
③ 介護・福祉サービス						
④ 通勤						
⑤ 行政サービス手続き等						
⑥ 趣味・娯楽・会合						
⑦ その他( )						

問 18. 全体的に自宅からお出かけ先への利便性(施設の立地と移動手段)を現状で便利だと思えますか。また、将来(10～20年後)の利便性に不安がありますか。(①、②の該当箇所に○)

	とても便利	やや便利	普通	やや不便 (不安)	とても不便 (不安)
① 現状					
② 将来(10～20年後)					

V. 将来(10年～20年後)のまちづくりについてお聞きします。

(1) 人口減少に対応したコンパクトなまちづくりについて

今後も全国的に進む人口減少や少子高齢化を鑑み、市街地を広げずコンパクトに保ち、なおかつ交通の利便性を維持・向上させるまちづくりの考え方が必要になってきています。

問 19. 『中心市街地へ都市機能を集める』ことについてどうお考えですか。(最も近い考え1つに○)

- ① 江差町を活性化するのに、まずは中心市街地に各種施設を集めるのは必要である。  
 ② 中心市街地も重要だが、北部の伏木戸町・柳崎町の市街地も生活上重要である。  
 ③ その他( )

問 20. 中心市街地を含む市街地全般の施設整備や土地利用について、関心のある問題をお答えください。

(5段階のうちあなたの考えに最も近いもの1つに○)

	とても関心 がある	やや関心 がある	普通	あまり関心 がない	全く関心 がない
① 中心市街地の活性化(にぎわいの向上)					
② 公共施設の統廃合や複合化					
③ 空き店舗や空き家・空き地の活用					
④ 危険な空き家の解消					
⑤ 住宅地や商業地における良好な景観づくり					
⑥ 住宅や建物の省エネ化や再生可能エネルギー導入					

(2) “コンパクトなまちづくり”に対応した道路・公園・その他都市施設について

人口減少・少子高齢化は、町財政の制約やまちづくりの担い手不足を招くことから、限られた財源や地域の人材をやりくりしながら、住みやすいまちづくりを進めていく必要があります。

問 21. 今後の「道路・交通施設の整備・維持管理」で、関心の高い取組はどれですか。(3つまでに○)

- ① 既存幹線道路の継続的な整備・維持管理      ② 既存生活道路の維持・改善  
 ③ 歩きやすい歩道の確保や段差解消      ④ 地域の協力による花などの沿道景観づくり  
 ⑤ 長期未着手道路の見直し      ⑥ 橋梁の長寿命化や防災に配慮した道路整備  
 ⑦ バス等公共施設の充実      ⑧ その他( )

問 22. 今後の「公園・緑地の整備・維持管理」で、関心の高い取組はどれですか。(3つまでに○)

- ① まちのシンボルとなる公園の整備・管理      ② 子どもの遊び場となる身近な公園の確保  
 ③ 町内会や施設の行事・催しで公園を有効活用(地域との協働で管理・運営、花壇や菜園も含む)  
 ④ 老朽化した遊具など公園施設の廃止や統合、更新による安全性の確保  
 ⑤ 高齢者や障がい者が利用しやすい公園にする      ⑥ 公園などの自然豊かな樹林地や水辺の保全  
 ⑦ 限られた財源を有効に使い、立地条件や利用状況に応じて整備・維持管理のメリハリをつける  
 ⑧ その他( )

## VI アンケート調査票

問 23.今後の「都市景観づくり」で、関心の高い取組はどれですか。(3つまでに○)

- |                               |                          |
|-------------------------------|--------------------------|
| ① 歴史的建物や文化財の保存・活用             | ② 歴史的建物や歴史的風致に配慮した街並みづくり |
| ③ 歴史的町並みに立ち寄りやすい、歩道や駐車場の施設整備  |                          |
| ④ 公園などの自然豊かな樹林地の保全            | ⑤ 商業地の魅力ある景観の維持・向上       |
| ⑥ 港湾・マリーナ地区・かもめ島の海を感じられる景観づくり |                          |
| ⑦ 周辺の自然環境や歴史的環境と調和した住宅地の景観づくり |                          |
| ⑧ その他 ( )                     |                          |

問 24.今後の「防災まちづくり」で、関心の高い取組はどれですか。(3つまでに○)

- |  |                           |
|--|---------------------------|
| ① ハザードマップの改善・普及                                  | ② 地域の防災活動の育成強化            |
| ③ 防災機能を有した庁舎や公園の整備                               | ④ 地域の避難場所の確保              |
| ⑤ 避難路の確保と周知                                      | ⑥ 上下水道などライフライン施設の更新や耐震性確保 |
| ⑦ ライフライン寸断にも対応できる、再生可能エネルギー（太陽光やバイオマスエネルギー）設備の導入 |                           |
| ⑧ 河川の治水対策の推進                                     | ⑨ 山地の保全、土砂災害の対策           |
| ⑩ その他 ( )  |                           |

問 25.将来にわたって住み続けられる江差町を実現するため、今後求められるまちづくりの進め方は、どのようなものだと思いますか。(いくつでも○)

- |  |
|--|
| ① 環境美化や計画の意見募集、施設の利用など自分達が関われることは、積極的に参加する。    |
| ② 限られた財源を有効活用するため、“選択と集中”によるメリハリある投資を行う。       |
| ③ 老朽施設を更新するとき、維持管理に費用や手間のかからない仕様・方法に切り替える      |
| ④ 計画段階から町民の意向を反映して、ニーズに合った効果的な計画を立案する。         |
| ⑤ 民間事業者等に維持管理を含めた施設の運用とあわせ施設整備を行うなど、民間活力を活用する。 |
| ⑥ その他 ( )                                      |

問 26.最後に、江差町のまちづくりについてお考えのことがありましたら、自由にお書きください。

江差町、美  
えさし

# アンケート調査結果の概要

## I 回答者の属性

- 60歳以上の回答者が半数以上。
- 女性の回答者がやや多い。
- 職業は、無職が3割弱、主婦・主夫（家事専業）が約2割。
- 居住期間20年以上の回答者が8割弱。
- 夫婦のみの世帯が4割弱、親と子の2世代の世帯が3割強。
- 回答者の7割は、「世帯で車を所有し、自分も運転している」。
- 自宅から最寄のバス停まで、「徒歩5分以内」の回答者が6割。

## II 現在の江差町のまちづくりについて

- まちづくりの満足度は「ふつう」が多い。
- 満足度が高い項目は、「歴史的な建物による景観」、「住宅の住みやすさ」、「住宅地の景観や美化の状況」。
- 満足度の低い項目は、「空き家や空き地・空き店舗の活用」、「商業地の店舗等の賑わい」、「商店街の街並み」、「観光地の賑わい」。
- まちづくりの重要度について、「ふつう」が多い。
- 重要度の高い項目は、「地域の防災体制（避難所、自主防災組織）」、「空き地や空き家・空き店舗の活用」、「商業地の店舗等の賑わい」、「観光地の賑わい」。
- 江差町での暮らしについて、回答者の約半数が「どちらかと言えば満足」。
- 今後の江差町は、「保健・福祉・医療が充実し、お年寄りや障がい者が安心して住めるまち」と約6割が回答。

## III 今後の居住意向について

- 今後の居住意向について、「これからも住み続けたい・住み続ける」が7割弱と継続居住の意向が強い。
- 江差町に住み続けたい理由は、「家・土地があるから」が7割強。
- 別の場所に移りたい理由は、「保健・医療・福祉の環境が整っていないから」が6割弱、「通勤・通学・買い物が不便だから」が約5割、「バスなどの公共交通が不便だから」が4割強。

## IV 市街地・中心市街地の利用実態と今後のあり方

- 店舗の利用頻度について、食料品の購入は、「週1~2回」が多く、最寄品や買回り品、専門品等の購入は、「週1回未満」が多い。
- 施設の利用頻度について、娯楽レジャー施設、飲食店、郵便局、金融機関、クリーニング店、理髪店、医療機関の利用は、「週1回未満」が多く、福祉施設、行政サービス施設、文化スポーツ施設、集会施設、子育て支援施設は、「利用しない」が多い。
- 店舗や施設の利用場所について、医療品・服飾品の購入、家具・寝具・家電の購入、書籍・文具・DVDの購入、娯楽・レジャー施設の利用は、「江差町外」が多く、その他の最寄品や買回り品、専門品等の購入、施設の利用は、「町内の中心市街地」が多い。
- 医療機関（内科・外科等）の利用は、「町内の中心市街地以外」が多い。
- 中心市街地について、「5~10年前より賑わい（人の行き来）がなくなったと思う」が8割弱、「5~10年前より便利さや魅力がなくなったと思う」が6割強、「5~10年前より空き地や空き家、空き店舗が多くなったと思う」が8割弱。
- 中心市街地の利用頻度について、「5~10年前よりも、利用頻度が減ったと思う」が約4割、「5~10年後には、利用頻度が減ると思う」が5割強。
- 移動手段について、「自家用車・バイク」が多い。
- 自宅からお出かけ先への利便性について、「普通」が5割弱、10~20年後の利便性については、「やや不便」が約4割。

## V 将来（10~20年後）のまちづくりについて

- 江差町を活性化するために、「まずは中心市街地に各種施設を集めるのは必要である」が半数以上。
- 10~20年後のまちづくりについて関心が高い取り組みは、「危険な空き家の解消」、「既存生活道路の維持・改善」、「子どもの遊び場となる身近な公園の確保」、「港湾・マリーナ地区・かもめ島の海を感じられる景観づくり」、「地域の避難場所の確保」、「計画段階から町民の意向を反映して、ニーズに合った効果的な計画を立案する」など。